

昭和9年(1934)設立

財務省許可 社団法人 昭和経済会

昭和經濟 22-3月号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可(毎月1回1日発行)  
昭和25年10月19日 日本国鉄道特別版認証記第1797号

# 昭和経済会

Manager Association of Japan

第61巻3号 22年2・3月

国会図書館永久保存

政権交代と世の中の変化  
〔時局論壇〕教育・研究を『世界標準化』  
〔時局論壇〕市場いかし再生の道拓け

中谷 元重  
伊藤 今井 貢一



## Showa Economic Study Association 企業家・経営者団体

財務省 本省許可

社団法人 **昭和経済会**

事務局 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000・3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showa-ec.or.jp/>

e-mail info@showa-ec.or.jp

<p>卷頭言 ..... 佐々木誠吾 (2)</p> <p>物事、難しいことはない ..... 井浦 康之 (46)</p>	<p>「時局論壇」</p> <p>「人生開歩」 ..... アメリカは ..... スピーチの国だから ..... ランコ岩本 (52)</p> <p>「教育・研究を『世界標準化』」 ..... 伊藤 元重 (11)</p>	<p>「時局論壇」</p> <p>クリスマスと新年の ..... お祝いを申し上げます ..... 林 光夫 (56)</p> <p>「市場いかじ再生の道拓け」 ..... 今井 賢一 (17)</p>	<p>政権交代と世の中の変化 ..... 中谷 元 (23)</p> <p>昭経佛壇 ..... 遠藤 蘆穂 (58)</p>	<p>わが回想記 ..... 堀江 忠男 (39)</p> <p>後記隨想 ..... 佐々木誠吾 (62)</p>	<p>日本人の持ち味を生かす ..... 野澤 亨 (4)</p> <p>表紙繪のことは ..... 関根 常雄 (79)</p>
--	--	---	---	--	---

次  
二  
三  
月  
号  
·  
目  
次

人間社会は今日まで幾多の歴史的試験を経て、その統一を得てきました。	創立と趣旨 会員制の企業家、経営者団体で我々が国「公私経済の発展助長」と発展目的で、一九三四年(昭和九年)五月十五日創立され昭和十四年、大蔵省から社団法人の許可を受けました。	その間、私達は経済社会の生活の中で、自然科学への洞察は驚きを以って、文化科学への触発は閃悟を以って発展してきました。科学技術の進歩と開発は人間の英知に寄与してきました。文化科学の啓発と振興は人間の情操をもってこれに歸み、文化科学の啓発と振興は人間の尊嚴を歴史のいかなる発展過程においても、常に人間の尊嚴を守り、限りなく高めてかねはめません。	昭和経済会は、公私を重んじ、時代に機敏に対処が、私達の目標であり実現であります。
① 会員相互の啓発、親睦、協力 ② 内外の経済、政治、文化、学术 ③ 政府、関係省庁への要望と提言 ④ 専門委員会講演会 ⑤ 海外派遣留学生奨学生基金の活用 ⑥ 月刊「昭和経済」の発行	主な活動	昭和経済会は、公私を重んじ、時代に機敏に対処を通じて、さらに公私経済の発展と推進に役立つ啓発活動を通して、この書籍出版事業のめぐら、日本企業の企業談話と経済活動を通じて、よりに公私経済の発展と推進に役立つ啓発活動として、その使命を果たしてまいります。	社団法人 昭和経済会

思い出しました。「尾瀬の春」もありました。」「五月の節句」について書いたことを以前、昭和経済の巻頭言で、「節分の豆まき」レス解説のありました通りがたいた行事であります。凡々の願い事を持つた凡人の、心身ともにストアわせと書いてあります。相変わらず平々内安全、商売繁盛があり、一粒万倍、まあわれていてます。鬼打豆の可愛らしい袋には、その年は健康に過ぎて、全てに縁起がいいとする。また豆を年数だけ拾って食べます。まかれた豆を年数を用ふると述べております。まちが歳の数を用ふるは、その後、合家日々熟大豆を食らふことは、声に鬼は外、福は内と呼んで、疫を擋い福を索使つてもいます。古書の「日事紀事」に、「高年の豆、年男、鬼は外、福は内」といってあります。豆まきのいと豆打、鬼打豆、鬼の豆、俳句歳時記には、豆まきは冬の項と書いてあります。

立春であり、旧暦の年は新年であります。清昨日、豆まきを終え厄払い、迎えた今日はが予を許しません。

民間の努力で少し歩つ持ぢ直してきていますの日本は、政治的安定が欠かせません。経済く体勢を整える場面になつた気が致します。今やうやうら自らの結論を得て小康を保ち、やうやく「政治と金」の問題も、今朝の新聞報道で、見えた「打ち勝ち希望と夢を実現すべく、邁進しなければなりません。幸いにも、混乱するかに見持した国民党も、苦労と痛みが伴います。それ政権が誕生して、五月がたちました。国民山といふて、民主党の政治主導をかけた鳩山

れた懐かしい記事であります。そのときの現実と、思いが述べられていて、なんとか遠い昔のことのよじて思えますが、

鬼払い豆を数えて喰ひにけり  
豆をまく妻の眞面目な顔を見て  
邪氣払い豆まく宵の地酒かな  
元旦になります。そこで、一句を披露しての  
の大晦日であり、翌日の立春が一年の始まり  
暦の上では昔、豆まきの節分の日が一年の終ります。豆まきを終えて氣分一新、明日は立春です。  
一緒にいらっしゃる感謝しながらおひな祭りもあります。子供たちがそれぞれに独立してからは妻と毎年行つてあります。身についた習慣で拙宅で  
え、一年のうちで一回のいとだから横着せずゆ  
開運招福の豆まきは、縁起がつきの行事です  
るものを感じます。

の社会や、家庭の風潮には、何かと疎かわしい  
つさえなくなつていてしてはつゝで、最近  
一つあります。生活に慣らしたもののが、近頃、一つ  
き離がれてきましたので、いわば日本の文化であ  
つした行事は、私たちが遠くに先祖様から引  
も夫婦はクリスチヤンですが、信仰とは別に、

で、豆まきの声が聞こえてきたのです。私がじつて一緒に鬼を払つたのです。あら、元気よく大きな声を出し合つて、子供たちも混色に吸い込まれてしまつたのです。昔はこの夜は豆まきの声を聞きませんでした。闇の豆は、【善光寺御祈祷】のものもありました。古くから縁へ農家が多くいの近所では、豆でも気分よくまき切つた次第です。使つた鬼打豆は、あがつてから同じように、納得する一階へ連呼して豆をまきました。

出羽三山の羽黒山の山伏の山伏の顛落め、】でん

豆まき

佐々木誠吾

卷頭言

## ギリシャの財政危機

多くの国を取り込んだ経済圏を作り、グローバル化した状況を見ると、共通な通貨をもつていろいろでてきてほしいです。しかし食い、一儲けなってあらぬ影響を受けたちで、大丈夫なドイツ、フランス等がとはつながれません。ヨーロの通貨が値下がりするなら風紋が全て飲み込むような結果さえたらあります。悪質な良質を駆逐するよといふものが超えて必要以上に影響がおよぶもので、予想を超く輸出が広がっていへんなもので、一国の財政悪化が、丁度、池に落ちた小石が水面に大きな波紋化が今困難な局面に立たされた意義をもう一度考えて政権交代が実現された意義をもう一度考えて

戻ることを祈るばかりです。一月十五日理解し、事態が打解されて、正常な国会運営にさせたといつゝメージしか残りません。それでも不利益であります。いたずらに政治を混乱させるのが原因で、加盟一ヶ国の経済運営の悪化をたらしいに運営そのものに矛盾があつて、それが原因で、一因があります。そもそも貴賤性を欠いた運営そのものに矛盾があつて、そ一ヨーロー経済圏には、そもそも金融政策の一小康を保ちました。

の、自民党政権時代に逆戻りしてしまったよう胆しています。折角の政権交代が、まるで昔日幹事長の政治資金規正法違反容疑で思わず波濤でしだが、鳩山首相の偽装献金問題や、小沢國民の大きな期待を以て船出した民主党政権でやかに実行されていくよう願って止みません。審議です。実のある実効的な審議を通じて、速く国会での予算委員会が開かれました。

## 国民からのお願い

豆打ちの終へて一族つなぎ止みません。乱世を生きてもヘターノである事を祈つてな気持ちで、改めて個人も、企業も、国家も、

るかは、選挙が終つて新しい政権交代が成歟さう有利に展開するか、どちらに賛成(ひき出すためになる政治であります。民主、自民にどちらもいたいと願うばかりです。それが国民党の区別なく、小異を捨てて大同につく雅量を持なんとか政治の混乱を回避して、与党、野党です。

きるよう努力してもらいたいと願うばかりで景気回復が支障なく進んで、国民生活に貢献で、始まつて、切れ目なく予算の執行が行われたつた状況です。実質的な国会審議がスムーズにません。どうしたらいいか全くわからないうわろうと、な知恵もなければ、な術もあるまいです。今の国民には、国会や政界の状況がどう変わつて、困ったものだと戸惑つていてるのが実情で心境にあります。国民党は狭聞(せばみ)に立つことを以て直ちに民主党政権に指導を渡すとかといったて、只今の国民の心情としては、いな印象で、実際に喫かわしい限りであります。

予算案では、九十二兆円の歳出に対し、三十七兆円しか歳入が期待できないのです。五十五兆円のギャップをどうすればいいのでしょうか。「事業仕分け」で、無駄を省いて得た國民の税金も、一體何処に消費していくのでしょうか。箱物政治から心の政治へと好いながら、配分先を間違えたりしてはいけないでしょうか。國民経済が停滞し、萎縮していらっしゃる折角の政権交代の意味合いもなくなってしまいまいです。景気が失速し、失業者が増え、消費費もマイナードが後退し、企業収益も落ち込み、國民の税収も更に減少するといった悪循環でもつながらがってしまいます。何よりも予算は赤字続きになってしまい、いの先の日本の将来は暗澹たるものとなってしまっています。手っ取り早く増税とまでは國民はまつたものではあります。民主党は初心に返り、國民のための政治に徹するべきであります。

毎度のところながら自他共に認め、お意見番役の水戸黄門を演じる民主党の渡辺恒三さん  
が、葬式に紋をかみしていわるわけでありませ  
んが、「神の声を聞け」としきりに忠告して  
います。渡辺さんが云つていて「神の声を聞  
け」とは、「国民の声を聞け」ということで  
あります。政治家にとつては至極もつともいじ  
ります。昨年八月の衆院選で圧倒的な国民の支持を  
得て勝利して、宿願の政権交代を果たしたに  
もかわらず、最近の民主党の政府も、執行

政治と金の問題

夢ひとしき望がかなつて経済的統合圏が達成されれば、諸国間の対立や、軋轢がなくなり、ひいては国と国との関係も、人と人との関係においても、構がなく、広く自由な交流がなされ、つまり、平和な世界への一利塚ともなります。

例えば平成二十二年度の予算編成です。当初多々あります。誰にでも直ぐわかるところは、政策に修正を施さなければならぬ点も香呑谷元氏が指摘していた通り、内外に難問山積の鳴山政権であります。事態は刻々と進んで、先に行われた当会の講演会で、自民党の中手立てを迅速に講ずる人々であります。国民党が納得できることなく、何のめり立らずに空軽すみばかりでは、何のめり立らずにわざわざいらしては、鳴山内閣に何時までもれられません。国民党としても、鳴山内閣に手立てを出来ます。国民党交代の実現に期待をかけたのか判らぬが、一番大切な諸問題の論議をうなぎ上り、国会が機能していない現実を無視するといとも出来ます。国民立ちがあつて、政治と経済の運営が上手くいけば、國民の期待にこたえた努力をとついて、疑惑を、依然として拭い去れなくなつて閉じて、ないといつぱりです。金と政治につわる疑惑も、國民の期待にこたえた努力をとついて、

が予想されるであります。しかし、実現までは相当の年月と努力と、紅曲ヨウカ。克服すべき条件が盛り込まれてあります。といつても、果して手放して楽観で生きるでしょ？等と、同一通貨を以って経済圏統合を図る性的に脆弱な経済のマイナビ、ハングルマイノ面をとらえてみても、経済力が強い日本と、慢闊園の構想などを、例にとって見ると、例えば一鳴山さんなどが提唱している、東アジア経済が合せられることが出来ないところに、大きな懸念が生まれました。これまで文化等々、経済的な面のみを以てして結びた地域と、言葉と、歴史と、宗教、育まれた民族と、失敗する可能性があります。つまり、制度の円滑化と透明性、そして協調性の息があわないで困ります。つまり、認識が欠けて、國內の基本的な整備と、共通した認識が欠けて、危険性もないわけではありません。そし飛びく経済に対する構想にも、一概に

指導者たちの理解と、高邁なる見識の賜物であり感謝している。同時に会員各位の尊い社会的  
大なる評価を得てきている。これは、時の世の  
優れた学識、学説の提供に努力してきて、会は  
ある大学教授を始め、著名な識者の協力を得  
経済社会の諸問題に取り組んで、指導的立場に  
昭和経済の時局論壇でも理解できることにつ  
いきたいと念願している。

そうした運動を強力に展開して、実効をあげて  
年たちの育成に取り組んできたが、これからも  
いく数年、会は新取の企業家精神に燃えた青

うつに努力して、その責務を痛切に感じている。  
互啓経済会は、企業経営者の団体であり、相  
うは当然である。

一步でも成功への道を歩んでもらいたいと願  
て、社会にあっては人の為了に役立ち、ひいては  
う気持ちが大人になれる。お互いに切磋琢磨し  
受け、努力して社会に活躍してもらいたいといふ

苟食う青年たちが人間としての正しい教育を  
いつの時代でも共通した認識がある。将来を  
こと思つた次第である。

く若手諸君の希望につながるよくな道をひら  
援を賜つて、その基盤を最大の武器として、広  
従来ども永年に至り会員として協力、支

方々の協力、理解も頂き開催した。

らい、新たな発想の展開をお願いした。多くの  
会は、理事を努める二十二代の諸君に企画しても  
うよう努めしゆべじとした。前回の講演  
若き企業経営者を目指す多くの若者に、参加願  
将来を展望して、昭和経済会で学生諸君を始め、  
先般の昭和経済会の予算委員会の総会の席上、

#### \* 青雲の志

.....

る筑波山かな

裏快にゆく人生は必ずも見て高くそび  
うならばのは

若い時から粉骨碎身、苦労と精進の末、我孫  
の計報に、悲しみ驚いている。  
六日、逝去された。逝年八十九才である。突然  
横山興業株式会社の会長、横山常夫氏が一月十  
を出そうちかと思つていた矢先のことであつた。  
て春めいてきた。無沙汰していたので、手紙がや  
殊のほか寒かつた冬が去つて、空ががやい  
。。。。。。。。。。。。。。。。

一十四日。  
の問題は、一刻猶予も違端も許されません。  
す。政治と金の問題も大事ですが、国民生活  
仕方がありません。監督を促す所以であります  
国民をないがしろにした行動と指揮されても  
審議拒否をしたり、拙劣幼稚な態度はむしろ  
からうといつて、大事な国會での予算委員会の  
べきであります。自分たちの主張が通らない  
辞めて、国政に積極的に参加する雅量を持つ  
時に、自民党は旧態然とした国会対策を

志高くかかげて邁進すべきに広漠の  
すがしたのへり  
艱難と辛苦に耐へて汝が道を行く賢人の

慎んで眞福をお祈り申し上げる。  
こに失つた。生前の交友、鞭撻を感謝して、  
戦後の生き証人であり、教師である大人を又  
信あつて親しく付き合つてきただけで、戦前

前にして学ぶことが云わすして多くあつた。  
開き、肝胆照らして接する時もあり、大人を  
思い出は、語るに尽きないものがある。胸襟を  
あり、いつも笑顔を以つて接してくれたさつた  
経済人であつた。風格はもとより、気概は豪快  
を己れながらに自由奔放に活躍、初心を貫いた一生  
その後の目ざましい勤勉と努力で、自分の一生  
であつた。戦後の混亂期を乗り切つて意志堅固、  
北支戦線で従軍し、九死に一生を得ての帰還  
にも役を果された。勇猛果敢な生涯であった。  
子市で財を成し、我孫子市の発展に貢献し、国

今若い世代の人は分かりにくいかも知れないが、我々世代の研究者にとってサミュエルソン教授の存在はあまりにも偉大だった。個人的にも、大学入学者から十年くらい、つまり米国の大學生で博士号を取得する河流域で、最も多く時間のかけて読んだのが教授の著作だった。

私のような研究者にとって、十二月十三日に亡くなつたボール・サニエルソン米マサチューゼン工科大学M.I.T.)名誉教授の業績はどうなんな影響を及ぼしてゐるか。今までいろいろな影響力を持ちながら、教員の業績の範囲はあまりに広く、それが分野で非常に大きな影響力を残している。その全容を解説できるのは教授自身だけだろ。以下では、個人的な研究人生の中で遭遇した様々な業績についての印象を述べてみたい。

門下生、きら星の如く

時局論壇

東京大學教授

## 教育・研究を「世界標準進化」

作品 関根常雄



貢献のあからずあると言へり。われらが、うした理論でひとへ活動に、物心両面から、の協力をお願いする次第であり、いわれを若き世代に継承してもらいたいと念願している。青年諸君の相互理解と活動の源泉は、若い人たちの会への在籍意識と、参加意識の高揚にあると思つてゐる。先ず、会員諸氏のこゝの意をお願い申上げ、ちなみに三才までの青年諸氏は、年会会費の軽減など理事会で提案させて頂き、総会で審議して頂きたいと思つていて。各位の理

一九六五年の出版で、その編者は後にノーベル経済学賞を受賞するジヨセフ・スティグリツと、米国ロビニアビア大学教授である。サンエルソノン教授の主要論文は、(一)の一巻に続き、同じくノーベル賞を受賞したロバート・マーティン

さて、私の世代の研究者が大学院に進むころになると、教科書を卒業し、教授のオリジナルの論文に触れる事となる。今回の原稿のため書棚から教授の論文集の最初の一巻を取り出しました。多くの書き込みがある、私にとっては宝物のようになります。

Three empty diamond-shaped boxes for drawing.

法を多用するにとも、学問の世界標準化に大きく貢献した。ただ、経済学の数理的分析の多くもサミエルソン教授の一連の著作から出てきたものが少くない。経済学の数理的分析手法の発展全般をリードしたという意味も含めて、教授によつて経済学の教育および研究の世標準化が進んだといつてよいだらう。

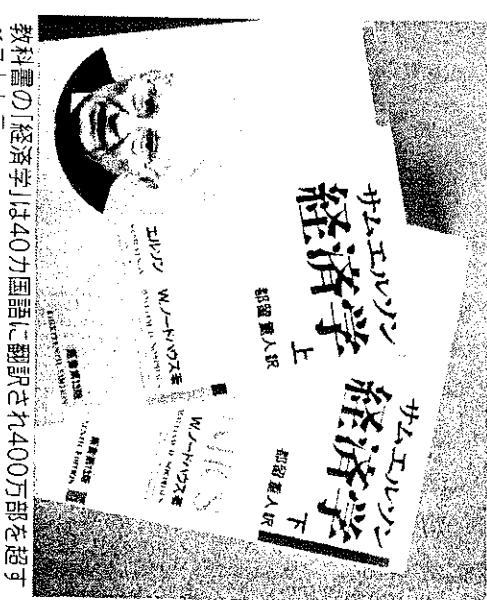
版權頁

この教科書によつて、経済学教育の国際的な標準準化が始まつたといつても過言ではないから、その初等レベルのものはなかつたし、その後にはこれ以前三にほんじてはなほじ影響力のあるものもしない。それ以前にはいれほじ影響力のあるものに大きな影響を受けていた教科書が何冊も出る

て寝ていていたいとも思はなかった。

當時は大学に入つて最初に読む教科書が『経済学』であつた。大部の上下一巻は質量とともに他の教科書を圧倒し、大学の四年間ずっと私の本棚の真ん中にある。何度も繰り返し読みだ。ただ、ぶ厚い米国の教科書を集中して読み込むのは難しく、いつの間にかこの教科書を枕にして寝てしまふ。

した。この原稿を書くまではそんな風に考えたことはなかつたが、我々の世代の研究者にとって教授の存在なしに経済学習得はなかつたのかしれない。



教科書の「経済学」は40カ国語に翻訳され400万部を超すベストセラー

の著作集を編集している。サミニュエルソン教授を中心となつて発展してきたMITの経済学部は、世界の経済学をリードする多くの学者を輩出してきた。私の専門分野の国際経済学でいえば、ノーベル賞を受賞したロバート・マクデル米コロンビア大学教授、国際貿易の大豪であるロナルド・ジョーンズ米ロchestタード大学教授、そしてMITで教鞭(きょうべん)をとったジヤグディッシュ・パグワティ米コロンビア大学教授など、その孫弟子ともいわれるMIT系列の人材として、ボール・タルグマン米プリントン大学教授やケネス・ロゴフ米ハーバード大学教授の二人がいる。

當時としては新進氣鋭の研究者の時代に教授の大業であるが、サニエエルソン教授が育てた、第四卷と統べ。これらの編者はいずれも経済学者米カールフォルニア大学デービス校教授による有名な国際経済学者ロバート・フェインストラハーバード大学教授による第三卷、さらに著

人文社会科の中で、経済学ほど世界中の大学でその教育内容に類似性が見られる学問はない。しかし教育内容の世界標準化は、この教養学でその教養内容が仕掛けたといつてよい。もちろん、経済学が他の人文社会科学に比べて数理的な手法書が仕掛けたといつてよい。

ンの影響力が増していった。ケインジアンに対  
一九八〇年代以降、ミルトン・フリードマ

◇◇◇  
運営に大きな影響を及ぼした。  
に、ケインジアンの政策手法として現実の政策  
広がった。米国では、一九五〇～一九六〇年代  
政策に利用するにとが戦後、世界の多くの国々で  
に代表されるように、実証モデルをマクロ経済  
ス・クライン米ペンシルベニア大学名誉教授  
影響を受けたノベル賞を受賞したローレン  
証研究に応用した研究者も多い。これも教授の  
の中には新古典派の切れ味のよいモデルを実  
教授の研究は大半が理論分析だが、その弟子  
を可能にしている。

のモデルは確かに現実経済を非常に単純化しそがモデル  
なものかもしれないが、その単純化しそがモデル  
者ほどこんじいなりようと思われる。新古典派  
あり、英國のケンブリッジ学派を重視する研究

新古典派の経済学では、いわゆる新古典派の  
正確には「新古典派経済学の父」と呼んだ方が  
教授は「近代経済学の父」と呼ばれるようだが、  
活用し、そしてその利用を普及させたことだ。  
经济学の基礎を築き、それを使って様々な分野で  
など多岐にわたる教授の研究の大きな流れを  
国際経済学、消費者理論、資本理論、財政学  
なつたこと。

経済学者が論文を書くのにどれだけの助け  
を表す」を使つたおかげで、後世の多くの若い  
価値の一部が消失するという近似で輸送費用  
イスバーグの仮定」(米が溶けるように商品の  
で輸送費用を処理するための手法としての「ア  
とかもしれないが、教授の国際経済モデルの中  
を説いていっていることである。教授は小さな  
デアがモデルの中にあり、その後の多くの研究  
教授の研究の一つの特徴は、素晴らしいアイ

に新古典派である米国ケンブリッジの方で  
今となつては、世界的な主流は明らかに  
シジ論争などと呼ばれた。

シジであったことから、米国と英國のケンブリッジ  
マサチューセッツ州ボストン郊外のケンブリッジ  
授のいるMITやハーバード大学のある町が  
のケンブリッジ大学であつた。サミュエルソン教  
ナード・ケインズの高弟たちが多くいた英國  
張の中心的な位置にあつたのが、ジョン・メイ  
を見失う」という批判も強かつた。そういう主  
法に対し、「あまりに單純で重要な問題の本質  
當時の世界的な経済学界には、こうした分析手  
とになる。

デルなどで、この新古典派モデルが活躍すること  
典派成長理論、財政や分配を扱うマクロ経済モ  
MIT名誉教授などによって発展した新古  
よりはる国際貿易理論、同僚のロバート・ソロ  
へクシャーリオリーン＝サミュエルソン理論と  
生産関数を巧みに使い様々な問題を分析する。

理」はじめ、数々の論文を書いている。  
すという「ストラバ＝サミュエルソンの定  
用されている生産要素の価格の上昇をもたらす  
較優位にある財の価格とその財に集約的に使  
名な「要素価格均等化定理」や、自由貿易は比  
素価格も國際価格に均等化していくこという要  
は偉大である。生産技術が同じとしても、その足跡  
が、国際経済学に限定したことでも、それが  
教授の業績は国際経済関係にどうまらない  
いたことを覚えていい。

通り舐(な)めるようにならの論文を読んで  
部分であり、博士論文を書いている前後、文字  
が最も多いのが、教授の国際経済関係の論文  
教授である。上記の著作集中で私の書き込み  
の原点であり頂点にいたのがサミュエルソン  
が発展してきたといつても過言ではないが、そ  
M.I.T関係者や出身者を中心国際経済学  
らが、きら星の如(ご)く並んでいる。

(ひら)へ決斷的知識が生みだされる。  
十九世紀末から崩壊の渦中で、文明批評家のW・ベンヤミンはこう書いた。「どの時代にも、片方には実り多き部分、未来をほらみ、生き生きした部分があり、他方には、空(むな)しい部分、遅れた部分、死滅した部分がある」。市場経済は、後者の否定的部分にもまた新しい一部法を適用して再生の道を拓くダイナミーたな

しかし「崩壊」は虚飾と偽書を削(そ)ぎ落  
じすはずである。仮に、それが矛盾と対立を鮮明にしたとしても、虚構に基づくむなしい対立でない限り、動的な緊張の中で、次の展望を拓いた。

「一〇〇年の新春を迎えた。ペルリンの壁の崩壊に新たな時代を予感してから一〇〇年、残念ながら日本経済にとってはまさに「失われた一〇〇年」であり、崩壊や亡国の兆しを警告する識

産業・文化の底力發揮

市場いかし再生の道拓け

今井 賢一

スカラバオ一大学



時局論壇

(口子エスター大博士。専門は国際経済)

七

日本經濟新聞  
平成二十二年十二月十八日

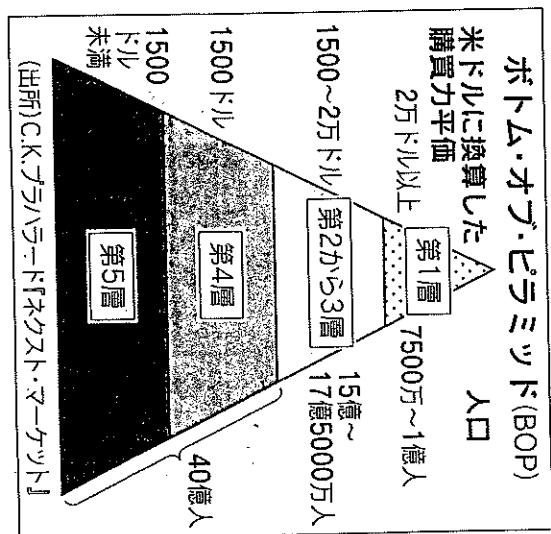
1  
1  
1  
1

抗して、この勢力を新古典派とか古典派と呼ぶ  
が、ここで新古典派と混亂しそうである  
が政策觀はサミュエルソン教授の支持したケイ  
ジアン的な考え方とは相當違つていい。しか  
し、どちらの学派に属しても、多くの研究者  
者の成績はかつてサミュエルソン教授が開発  
した様々なモデル分析を活用するに至る。  
思想や立場は異なつても、共通の分析の枠組み  
に基づいて分析を行い、結果で論争をするとい  
う、健全な論争の基盤が経済学には備わつてい  
る。ある。

けいた父親の会社の清算に必死の努力しかある者は、証券会社を辞めて日本でつぶれかきた場所で日本企業は再生している。例えは「なんだから」に頼らず、この未来をはらむ生き生き死んでしまう。そして日本の補助金漬けの「死ぬの中心には、広東の「珠江デルタ」地帯であると読み通すと、今後の中国企業経済のダイナミズムに聞き取り調査を行ってきた。その貴重な資料を聞くとともに、(一)〇年近く数千社に及ぶ膨大な一橋大学の関瀬博教授は、中国の企業システムが図の第2—第3層であり、特に中国、なんかんその観点から、日本が重点的に組みべき相手である。

◇◇◇

が、いま世界に必要なのは、上述のような気がして企業者の「気づき」(alertness)を強調したい。イニシアチブを実現していく最重要な機能となる。



米国の一〇分の一程度のコストで、しかも最高の技術でできている。今その貧困市場にも未来をはらむ部分が生まれている。例えばインドでは、白内障の手術が市場でのノーノンが最も重要な課題である。BOPをもつ。所得格差を真に縮小するには、BOP市場も同じ形にならうとする傾向

ダイナミックな過程」であると定義し、そのダイタク大学名誉教授は、市場とは「発見を生み出すア派を代表するI・カーズナーミニヨーヨー・シヨン。ノーノンを引き継いだオーストラリアという病院組織は補助金なしで黒字である。そしているアラビンド・アイ・ケア・システムの医療サービスを提供する。しかもそれを実施に合わせた人たちが払えるコストで最高若い人に手術の順番が回っていない。つまり状況がインドに来るのは、手術の回数を重ねるといふよりもアリアが欲しいからである。太学病院では、バード大学医学部などの若い先生が行う。彼らの度の手術ができる。しかもそれは、米国の人程の日時を指示する。その結果、一日で二〇人程訪れては検眼し、目を見て、程度によつて来院するかの一つにボイントがある。段取りの前工程と後工程は、非営利組織(NPO)の援助で行なわれる「アイキャッシュ」という方式で、トラックで車両の運搬が行われる。段取りと誰が手術

層の資金が均等化しようとする圧力が働き、各層が存在する。開放経済の下では、世界的に各階層には国や地域間でこうした所得の格差が示す。ラミックである。

ガソリン大学教授による世界の所得・人口階層を示す。ピネツワードを組んでいくことだ。図は、世界のBOP(ボトム・オブ・ピラミッド)市場とネツワードを組んでいくことだ。図は、世界経済、そこでのグローバルな市場のダイナミズムと一体化し、そこでの生き生きとした部分が現れる。日本の経済にとって一番大事のは、世

みたいたいと思うのである。

化のもう一つ「底力」ともいいうべきものを再考してやる。起きあつと認めめた上で、(一)のようないつも書くと、市場万能主義者と思われるかもしれないが、私は決してそうではない。政府のシステムをもつ。

はられる若者、そして高齢者の経験知などの難多  
べ。一タは、資本主義は本来、共生しようとはす  
の職人階層まで追放してしまった、と嘆いたが、  
日本はいま述べたような「草の根」的な力を残  
していることが強みである。

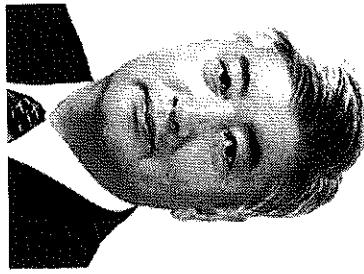
さて、こうした地政学的な視座で日本を眺め  
れば、世界の中心都市としての東京の機能を再  
評価すべきである。日本における東京一極集  
中的弊害は、やがていつ運れた部分、死滅  
した部分だが、現在の危機下ではます実り多き  
した部分は生き残らみ、生き生きとした部分に注目

その後深圳に渡り売上げ六〇億円の企業をつくりあげた。そして、「珠江デルタ」地域は、トヅレベアルの港湾・空港をもち、地政学的に見てもアジア情報ネットワークの拠点である。技術力をもつ日本の中企業の多くが、この新しいインフラを活用し、躍進する中国の民営中小企業と組み込んで中国の状況に適合した環境技術の普及につとめてほしい。例えば中国の発電燃料の八割は石炭で、火力発電所の効率は極端に悪い。これをお高効率な日本の発電技術で改善するだけで、環境汚染は著しく改善する。

歴史に培われた本物」とは、よく知られた枯山水の例でいえば、みずみずしさを感じさせられるため、あえて水を抜いてしてせつとした情報発信力である。そこにはデジタル情報の蓄積でなしえない「礎石」のよさがある。重要な特徴ではないが、そつした「引き算」の文化は日本独自でなく、世界に通じる普遍性をもつていていた。世界で最も注目されべつかるサイン会社米IDEOは、本質的なものを生かすには、ハイレベルな要素技術であつてもあえて削ぎ落とした。これが、世界で最も注目されるサイン会社である。

機械装置】を日本の眞の底力とするには、東京の奥に存在する京都・奈良に【歴史に培われた本物】があるといつ自信を取り戻すべきであろう。数年前に他界された木村尚三郎教授は、新しき好きの私をつかまえて、パリの最先端の動きを会合の度につれしそうに教えてくれたが、同時にそれが「パリの歴史に培われた本物」とつながつてゐるが故に価値があるのだと必ず付加えられた。

これがどの時代の「中都」で形成されたか。ジエラード、ヨーヨークなど、それがどの時代の歴史を書いたジヤック・アタシネー、ロバート、ニコラヨークなど、それはどの時代の「中都」で形成されたか。前掲書にその理由は書かれていないが、私なりに考えれば、それは「多様な技術・文化変換装置」としての東京のもつ優位性である。つまり、世界のあるらゆるハイテク都市は世界に存在しないのではないか。  
ド・ソフトの技術と文化を吸収し、修正し、複製を超えて再創造し、何か違うものに変換して再び世界に戻す能力にかけては、東京にかなう。都市は世界に存在しないのではないか。  
しかし、町の熟練工や職人、また「オタク」とよばれる業者が、エリートの設計者や技術者だけではないで重要なのは、こうした技術・文化の変換作業だ。



中谷 元  
衆議院議員  
元・防衛庁長官

## 政権交代と世の中の変化

なつております。ブの判断を仰がないうちに、物事が出来ないようになります。大臣や政府官の務めであります。全てソシテーの組織として動いております。司、司と申しまして、それぞれの仕事を分担しながら、一つの省もありまし、官房長もあり、事務長さんもいる機能停止になつています。あくまでも事務次官は仕事を大臣が全部仕切るといつて、実際はいろいろ、今政治主導は、一つのお役所の

事であります。そういう意味については、お役が大切であります。官僚を排除するのではなくかは如何に判断して具体的に部下に指示するかで、物事は進まないわけであります。トントンではミスター一年金といわれた人が、ミスター欠航など。そういう方同性、特に厚生労働省など多くの公務員の人達がどうしたらいいのか

今  
日  
は  
一  
番

(一) 橋大学名誉教授。専門は産業組織論

平成十二年一月四日 日本経済新聞に発表

東京を中心の「技術・文化交換装置」は現代性をもつ過剰な詰め込み、つまりし算の性質をもつ。そこに歴史に培われた引き算の文化を加え、その両者の相互作用を基盤として、我々の未来をしなやかに創(う)へていきたい。

落とす戦略をとっています。

されば、左寄りの人もいる中で、いろんな議論を安全保障の問題についても、右寄りの人もいきな自民党の点であります。

を、自由に発言できたりといふところが、私が好き意見がある、自分は、といふところ、そして、どうして、ススであります。いつも意見がある、あるから、あります。つまり、あれは政治決戦の一のプロセセ運動の環境があります。いろいろと争い合う場面もあります。自民党の良いところは、そういうのを自由な活動で、自分の理想に従って活動するのであります。結局、政治家というのは、自分の考え方を述べます。田さん、海江田さん、いろいろな論客がいます。その他、民主党には仙石さん、前原さん、野じた。

「…」と、その遭遇から不満を述べています。渡辺恒三さんは「正しいアドバイスをしたのに恒三さんと一緒に四国に行きました。その時に渡辺恒三さんから外されてしましました。前の前、渡辺恒三さんをしておりましたが、新しい内閣では最高顧問をしておりました。新しく内閣では

所の仕事は今現在、沈黙しております。それには加えて政策陳情判断会議という非常元の知事と市長が道路が欲しいといふことで、普通なら国會議員さんとか、お役所の幹部に陳情するのですが、民主党の幹事長室にお伺いするといつて、幹事長室に行きました。そこでは「そんなにお願いするなら、民主党を応援してから来い」といってあります。その結果は「そんなんにお願いするなら、民主党を応援してから来て」といって、幹事長室で発言あります。民主要許可権を譲り受けたやうなふうのだ、とにかく発言あります。民主も、自民もどちらも、自分たちで発言あります。それがあります。これが思ひ通りに進むことはないと思つます。それを公明党でも、公正で公平な政治をめざす以上、これではいけないと思つます。財務省は国家公務員であり、国民の税金で仕事をしてもらわなければなりません。一つの政黨が田舎で動かすことはございません、政治主導で仕事をしてもらわなければなりません。

いいます。一つの重要な問題の是非を論じて、その判断をする際に、問題にどれほど精通しているか、どれほど精通している人であるかどうかであります。専門的な人であるかどうかが問題であります。例えば安全保障もそうですし、社会保障もそうです。例えば「事業仕分け」の際に、やる障もそうです。事業仕分けを、「事業仕分け」の際に、やる事業仕分けを、どうやって選ぶかで選べます。

そこで今話題になつてゐる「事業仕分け」について私の考え方を申し上げます。非常にいいアドバイスであると思ひます。まあしたオーナーの方で、税金の使い道を国民皆さんの前でやつていかなければなりません。それが民主主義です。今まで良いか悪いかを議論するよりも、今までは党だなあとか、一目置いておひらくあります。しかしむけへ考へてみますと、あの仕分け作業で必要なのは必ず「仕列入」の仕分けだと思ふ。

世の中は非常に奥が深くて、複雑であります。一部の人には良くても、一部の人にとっては死活問題であります。例えば食肉偽装問題の一つを取り上げてみると、食肉偽装問題で一度そのように

世の中にはいろいろな事柄が起きています。そして、それがいついつの法律相談」といって、ビデオ番組や雑誌などでよくあります。AにかかるとBなんかがいることがあります。そのために物の見方によって違つて参ります。そのためにはそつです。AにかかるとBなんかがいることがあります。それはなぜ。どうやら見方が人から裁判決をせめられることはあります。真実、答えは「B」です。それで裁判決も出します。そこで、「B」が勝つのです。それはなぜ。それは、BがAの立場で見ただけであります。だから、Bが勝つのです。

報道されると、そばに開かれていた人の会社が倒産するとか、失業するとか、簡単に論じてそれができないことが起きて参ります。最近のテレビ報道では、その内容ではなくて、非常に感性に訴えることが多いのです。それを毎日毎日見ていても、完全に洗脳されてしまいます。テレビドラマでも、感動の場面を見たりしますと、一生心にその場面が残っておられます。アナウンサーはアナウンサーで、ただ紙面で書き込まれた原稿を如何に真実に、如何に強調することができます。アナウンサーの腕一つで報道の仕方が変わってしまいます。アピール力といつものがあります。

は、これは想ひしる政治的な活動であります。この言葉で物事を決してしてはなりません。小泉さんお發場して以来、使われてばかります。One phrase politics といふ言葉で云われます。それはそれで、それがどうか報道から見られました。それからどうかありますかと云ふと、こんなにしらからどうかありますかと云ふと、これが僅かに限られていてます。しかしテレビの力は、これを読んで理解していく人は少數です、まあなかなかそこまで読む人があります。もちろん新聞もありますが、その影響力は、テレビの影響力はどちらか申しますが、テレビの独走です。残念ながら、そのもつ議論は今民主党的な意見を提起して議論してもらいたいと思つてしまつたのです。つまり一年生議員であるから、党内で決まつてしまつたことを決してそのままではいけません。

国民党は、丁度ベルリンの壁ができた時に、保守が崩壊した時に、既に決着済みであります。自

己の結論は、今から十二年前のベルリンの壁由主義を選択したことは正解だったのです。自由は正しかったのです。やはり日本が、戦後のそれには、共産主義、社会主義と対抗する言葉です。政治の基本原則は自由主義であります。されば、まず、国を目指すのかということがあります。先ずうつて述べておきたいと思います。日本はどうゆいいつにマーチ

して行くのではなかと思ひます。ならば、何といふことは、いろいろな意味で今後影響を及ぼすかもしれません。このマニフェスト至上主義といれば、しまします。どう云うことで政策決定をしなければなりません。やはり徹底的に議論をして、ただけを掲げた政治のやり方は間違っていると論じて、厳密な議論がないままに中味もなく、結構いうことあります。非常アバウトであるを本当にやつた場合に、どうなるのかな

党としておかれなければならない。しかし止むを得ない、これらを約束しておりますので、民主医療の廢止、高速道路の無料化、企業献金の禁止など、二十五パーセント削減、それから高齢者例えは、子育て支援、地球温暖化対策でのCとかが、むしろ大変な話だと思います。ハリスのマニフェスト通りに政治をやるといふことは、された方が多いと思うのです。実際の問題は、ガラシと変えた方がいいぞ」ということで投票していくのであります。民主黨のマニフェストよりも、「一度自民党を後退させて民主党に国民の皆さんには、自民党の本質を伝えたり

にマニフェストを作つて選挙をしました。一できなかつたのであります。ですから、選挙前に統一方々が集まつておりますので、一つの理念には民主党には、党の綱領がありません。色んなスト主義について述べてみたいと思ひます。実はそういう意味で、三番目に便直したマニフェ

配しております。

煽りましては、いろいろなものがなあとに心平洋戦争の時に、戦争を煽つて失敗した時と同じだらうかと心配しております。つまりもつてついても結構ですが、今、日本経済はテヘであります。これ以上テヘレ促進運動を行つてしまつて、敵対主義論がないままに中味もなく、結構正予算をねがい切りました。安定したままでして行けばあります。

から、いろいろな基金を作つて、二年間です。来年度予算ではなかなか出来ないものであります。特に二二、三年は景気回復を目指してきました。あるのです。いろいろな意味を持つておられます。教育もそうです。いろいろな意味がそり時代に作ったものが多いつのですが、それが間違ひのない政策を取れるかどうかといふが問題上けるところです。事業内容については、我々自民党時代にあります。事業内容についても、我々が盛り上り上り、マスコミも盛り上り、政治家も盛

縮小する時期に、政治的に縮小ムードを盛り上るに今は経済が縮小しております。その経済があります。今はアフレの状況にあります。要すがそれからもう一点、私が心配していらっしゃる点であります。

ただ単に表面的にやつてはいけないのかなあ論に間違いがあるてはなりません。その面では、結起してやつておきました。やはり問題は、結たし、自民党の中でも税制調査会とか、いろいろでも大蔵省の担当者が査定をしておりしまけをじなければいけません。そういう意味で今まで言つておきましたが、やはり、また人が仕事分け分け作業の現場で、文部省の役人が怒つて

いと間違つた判定もあり得ると思うのです。云つたまことについても、しっかりとして仕分け人の資格とで判定するといふことは極めて危険であります。それが分かりませんが、僅か一時間の議論

いにになりました。われはおかしかのではござつたのですが、僅か一日で解決してしまいましたので、我々はもう少し議論する必要があるたらすことになります。

が崩れてしまい、金融にてつて大きな混乱をもつておきながら、いざ政権の座に着くと、に発表されて周知されません。それで機関は融資状況を当局に報告しなければなりません。そうすると拒否した企業の名前が機関に求めると、それがどうのでもあります。融機関に対しても借り手から申出があつた金額を凍結するといふことになりますと、本当に議論が必要になりました。これらは中小企業の支援を目的とする法案でありました。時に国会を開めることになりました。しかし、これが金融で中小企業等に関する一括法案でした。

日本は本の伝統とか、秩序に支えられてゐるのもそれから保守主義に立つてあります。これは政治の非常に大きなファクターであります。これがアーリズムの主旨であります。ないむちじ意見したハーリンス感覚を指します。この利権といつたことを重視して一方的に原理、これを両輪として個人の自立、又、弱者ズムとは、よく自由主義と混同されます。ソリハーリンスムであります。

これがやはり大きな原則であります。集約の仕組みであります。多數決が原則です。それから民主主義についてです。これは意見

その他、円高、安全保障、財政の資金問題、く説がなつてないといつてあります。今度は旧大蔵省の役人を登場させるという、全だと言つておきながら、いざ政権の座に着くと、める時には、武藤さんが財務省出身だから駄目決省のOBを据えたりましたが、日銀総裁を決して、散々議論しました。社長に大蔵省のOBを据えたりましたが、日銀総裁を決して、守つて行くべきところは守つて行くべきです。

率化して行くべきであります。出来たけ民営化させて出来るだけあります。出来たけ民営化させて出来るだけあつては地方に、とにかく世の中の流れで出来は、民間が出来ることには民間に、地方で出来に戻していいのかなあと心配であります。や逆式を結ぶことにいたりありますと、本当に株式を横柄だと国会の意義がなくなります。それから、やり方が余りにも横着であります。自民党ですから、初めて審議拒否という手段をとったのです。そこで野党になつた

で、我々は張り切つていろいろと質問していました。実は十月十日に国会が召集されました、政権がきて一ヵ月程国会を召集せんでもあります。明日(十一月四日)は開会であります。鳥山政権が出来て良かったのですが、この政治が、どのよつた状態にあるかが頂きます。次に、国会について述べさせます。

事でして行くべきだと思つております。また、これからははるかに改革した事柄であります。はせであります。改革して行きながら、今までの蓄積をしきつたのは、ではなくはや、やはり日本の風土に合つた事柄であります。必ずしも外國のやり方が良いのと、人間の価値とか尊厳を尊重してやつての上に作り上げた一つの秩序であります。そ

は日本は本の伝統とか、秩序に支えられてゐるのもそれから保守主義に立つてあります。これはアーリズムの主旨であります。ないむちじ意見したハーリンス感覚を指します。この利権といつたことを重視して一方的に原理、これを両輪として個人の自立、又、弱者ズムとは、よく自由主義と混同されます。ソリハーリンスムであります。

これがやはり大きな原則であります。集約の仕組みであります。多數決が原則です。それから民主主義についてです。これは意見壁は終つておりますが、自由主義は正しかつたと冷戦が終つてしめられました。ついで一の役割、合衆国で出来ました。昭和三十二年にハーリンスの

県民からすれば、いざなぎの受け入れられるふんどし、辺野古の市長ひんであります。沖縄の事を進めています。一番可哀想なのは沖縄の知事東した契約書に従つて、相手方のアメリカも事あります。当然貸した方は怒ります。国自体もあります。サイレントの返さないといふのと同じであればお金を借りた個人や法人が、契約書にします。

が、それはアメリカには關係のない話であります。政権は民主党政権と交代しましたが、も知れませんので約束をしました。ですから今が結合をして、日本とアメリカとが協定まで話し合をしました。アメリカと話すことで非常に苦労の上、議論を行つた末に辺野古に移基地の移転の問題は、民主党政権の時に日本が聞

何が問題なのかといいますと、今回の普天間、ず、国民生活を不安にしてしまいます。取りもなおさず今までいつりいつりであり、国家の土台を崩

論のみを付けていかなければいけません。年に止しております。しかし、それが専門的なことから小沢さんは、国会で官僚の答弁を禁

ると思います。年の国会で、いついた矛盾が明るみに出でます。恐らく来年(平成二十二年)予算を組んでおります。政府は今、七軒八倒しながらどうか。本当に責任のある政治家が云うになります。本当に毎年十兆円くらいのお金がかかります、これには全部とは申しませんが、更に毎年十兆八千億円、いわゆる規範債発行は、五十八兆円になりますが、これが新潟といいますと、三十七兆円です。もちろん新潟であります。何と恐ろしくじめの國債を発行ります。今までさえ、四十兆円ながら、来年度の行じだといいます。國の税収は三十七兆円であります。一年間の國の収入といふのは、皆ひどく存多くかかるにになります。

しかし外交や安全保障の過ちは、国を亡ぼします。十年かけて取り返しがついて挽回できます。内政は仮に失敗があつても、五年か起きません。内政と違つて、諱ると取り返しがつし、安全保障は安全に大切に考えたい」と。しかし、意頭において大切に考えました。今日、鳩山さんのがいい例が、普天間問題です。今日、鳩山さんがこんなことを云いました。社会党連立の合意についてしまつてはいけないかといつてです。それでから私が一番心配しておまりますのは、安平和思想といつたものに、単純に引つ張られる全保障の問題です。社会党連立の云う封じ込めてしまつては、正に言論の場から完全に締め出されてしまうことが大切です。冒頭のスベシヤリストを国会の議論から完全に締め出していくべきヤリストの議論も含めて答弁をして行くべきですから、非常に核心までもなかなか議論が及ばないのです。そこで専門家、スベシヤリストの議論も含めて答弁をして行く必要があります。臣に聞いても政治家は、はぐらかすことが天才

三年の時点で、今より十六兆八千億円も財政がするといいで一兆五千億円など、一一〇一二兆六千億円、そしたら時に暫定税率を廃止とか、奨学金とか、最低賃金を引き上げるとか〇・五兆円、高速道路の無料化で一兆三千億円、〇・五兆円、高等學校の無料化で五兆五千億円の予算が必要となります。それだけで五兆五千億円の予算なりますと、それだけで一万六千円として、これを皆さんに配るマニフェストを実行するのにどれだけの資金が必要かと申しますと、子供手当てを一人当たり一萬六千円としますと、予算編成のところになります。民主党が、あれだから政策決定のことであります。問題は

と思つのです。  
もう少し眞面目に、しっかりと考えていくべきを閉じてしまつました。政治的立場も、一方的に議論しなければならない問題であり、課題等、これは正に国会で党首を以つて討論を徹底

に、いかに人に伝えるかといふ、いかに悪くなっています。最初に申上げましたよが心配していると同時に、日本に対する印象が常聽きたいといつのであります。アメリカは非常つてくれどの申し入れもありましす。その理由を来週はアメリカの国務省から、その件では是非とも面会したいといつ申し入れがありました。又、大使館から私のところに来て、その件では是非ともうますが今、補給を取り止めといいました。

題もく、非常に良好に行なっていました。問日米関係はしつかりと何のターミナルもく、ことで、非常に役に立つております。そのお蔭仕事で、これは技術的に大変むずかしく、神氣のいる仕事で燃料を補給するといつておみつています。上いので、全てアメリカに対してドド洋の洋の国内に自衛隊を出せるよう状態ではな日本は憲法の問題もあり、直接アフガニスタン

あります。

市議が当選しますし、県知事もそつなるでしょと、必ず沖縄は基地の県外移転で、反対派あまりあります。それはそれで総理大臣が決断すればやはり重要になります。しかし政権がどうなるか、それがわかれであります。ついで発言をしてそれ以上に、自分の政権維持を優先にして、それ

鳩山さんは国家の安全とか、アメリカとの関

ります。  
社民党が外れたら、日本は良くなると思つておらず、こんな状況を考えるで三党連立政権に参加している社民党の福島党首が、これを受け入れなかつたら重大な決意です。たしかに、その歴史は解れ去つておりますが、これは正に手く行く予定であらまです。日本と交渉議をして、百メートルくらい神戸に移せりうる返事を得ております。政府がアメリカよ

か、百米ぐらいたして貰えば沖縄はいいです

大統領は苦労しながら、テロから攻撃を受けなスタの問題では、現地に自國の兵士を送つて、麥大さな意味があります。アメリカはアフガニカと思われていても知れませんが、いれは大洋に於ける支援が、本当に役に立つていています。日本国民にとつて、イードい傾向があります。これは一般に余後方支援についてあります。これは一般に余

題になつて行くと心配になります。  
題にしつかりして貰おなじど、いれは大きな問題を判断するといつてあります。そういう面で、やはり總理のするには、大局に立つて物事を冲縄だとつて見ていくのかといつてあります。それで、後悔するといつてあります。それが果してアフガニスタンは又、日本は信用できないと云うます。

う。そうすると、普天間問題は振り出しに戻

国が聞き取りをしており、若干沖合に五十五メートルですかといつて、沖縄の方々の意見を今、しかし、その上で尚且つ沖縄の人意見は纏めました。

もう大きな影響はないだろうといつて、計画書を調達しております。その結果、境境内に埋め立てるに当たり、環境調査を行つて辺野古の沖合にて建設すべく、滑走路の予定地基地問題も、もう少しのとひまで来ていています。せつかく物事を進めてきて、日米安保条約の合意をして受け入れたといつなのです。

県民や市民の立場を考えて、苦渋の決断の上の立場も考えて行動していくわけあります。このときもまた、沖縄の代表者であり、沖縄県民の立場を参考した上に立て、日本の安全保障とともに、沖縄の代表者であり、沖縄県民とかどちらかとも知れませんが、やはり県知事

心で生きる組織を作っていることがあります。そして安治がやらなければならぬのは、今年の年金が行政問題に対処した明治維新もありましたが、今の大問題は一番大きな問題であります。歴史的に重大な問題であります。年金の配分といつのは、今日本にとつせん。年金と消費税で考えて行かなければなりません。又、安全保障は日米安保を軸に、社会保障は

頑張って貢献いたいと思っております。私は、どうした意味で、鳩山さんには強力なりダメージを發揮してもらいたいと思います。そのことをきちんと云いつてあります。構造改革そのものは必要なものであります。いろいろと弊害もあり、修正もなされてきました。小泉改革でそれを掲げましたが、全体につま

ります。これは地方に移して行くのが基本であります。やはり民間で生きるといふ民間に、地方がでます。項目印となるその旗とは「構造改革」であります。

「旗」とは一体何であるかといふことです。いかにも無駄的であり、お座なり的といわわれらるる気もしますが、單にそれだけの理由だとしたら知れません。こうした延長線上にあらざるものが反対してきたからだといふつもりから云えども、それは前の自民党政権のやつていていたから云えども、そんな無理をしなければならないのかなと思います。何でそんなに情けないと思つております。されば、アメリカに尻尾を振るようにならないであります。

時、鳩山さんは「日本の経済支援に關して、オバマ大統領は感謝する」と云つてくれました。先立つて、日本首脳会談がありました。その間で一千億円です。つまり七十億円で済んでいます。ドルといつてありますと、五千億円です。つまり年間で支払うといつてあります。五年間で五十年間にしますと、アフガン支援に五十億ドルを五年間申

「新しい自由民主党の旗」は、「新しい国家の信頼されません。今日は私が発言しましたが、ししい旗を掲げて行かなければならぬと思つております。それでないと、これからは國か最後になりましたが、我が自由民主党は今、新

す。とにかく思つて決して良くないと思つております。臣が、次々と変わつてゆくところでは、日本の総理大臣としていたいと思つております。最初に申しまして出て来るだけ補填的に建設的な意見を述べて行くばかりですが、益々心配や不安がつつかしく、このままでは、益々心配や不安がつつかしく、片寄った意見もあるとは思ひますが、しかし、これら片寄った意見もあることは思ひます。私はあくまで自民党の国會議員であります。いろいろと申し上げておきたいのですが、

所高所に立つて、しっかりと国益を踏まえて判断する方があります。もつと国益を考へて、大

債田へいらしてあります。それでわざて鳩山さらい掛かっているかと申しますと年間約七十七億円が出てまいります。

例えばイギリスの燃料補給にいらっしゃる友達といつものを持つておかぬいと、大変不便でも、やはり助けてくれるといふか、頼りになつてから、円高が急速に進んでいりてなどにいつい

ところが、最近はトヨタの車のリコール問題です。くつりには色々な面で役に立つております。日本経済にとっても、アメリカンナーを組んでおらず、日本の経済にとっても、日本の安全保障の上にも大事であります。日本の安全保障の上に於いて大切な要素であります。日本がアジアのなかでリーダーシップを發揮するに於いて大事な要素であります。日本がアメリカに好かれていふと云うことは、やはり日本がアジアのなかであります。日本の関係でも、極めて国益を左右する大事な事柄とても大事なことがあります。国家と国家との間に信頼されるかといつては、人間關係の上で

正解はマルクス『資本論』だった。

ソ連の国営テレビに次の大イズが登場した。

中国で「フルジヨア自由思想」抑圧が進行しているとき、ソ連では「自由化」が拡大されといよいようだ。昨年末、最大の反体制思想家サハロフがゴーリキー市の軟禁を解かれてモスクワへ帰った。

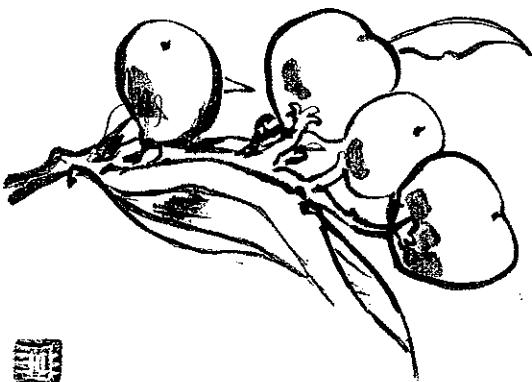
一九八七年一月二十四日記

レロハセベキベ

わが回想記

早稻田大學名譽教授  
堀江忠男

一ニンの遺書が掲載された。



作品 関根常雄

その財源の消費税、これなんとかして国民の理解を得て導入するにとどめます。これがから、の自民党は、そういうふうに心配する政党であるリです。ヘルソンの壁が崩壊した時点で、自民党が大きな目的とした「自由の理念」の高揚と共に実現は一応は終わっておりますが、しかし次の方がしっかりと思ひて頂きます。以上、私の思いを述べさせて頂きました。この後は、皆様の質問を受ければ頂きます。

向かっていであらう。自分の心に正直に、社  
会に貢献すれば、必ず世の中は新しい方向へ  
自分さえ良ければとか、他人のことは知らぬ  
るが、心を奪はれてくるのである。

死の人生を、いかに共に助け合って僵しく生きる道徳の教えのよくな気がする。一方、仏教精神的苦しみや悲しみを解決してくれる、むしろ道徳の教えのよくな気がする。一方、基督教的な原形は、勿論こんな風俗的、金儲け主義的なものではない。その根本にある思想には、いかに人類が共に助け合って、少しでも幸せの方向に進んでいくか、といつ思想があるのでは、いかとかと思う。キリスト教も、人類の物質的、精神的苦しみや悲しみを解消してくれる、むしろ道徳の教えのよくな気がする。

へ、自殺でもするか、他人はどちらかといふと考  
え、捨て体になつて刃を向けひしかないのが、  
此の世の現状である。

中国はいま「四つの基本原則」と自由化とのことで多い。  
たことなど、ほんとに自由に批判・検討すべ  
く矛盾で苦悩している最中だが、ソ連の場合にも  
「マルクス・レーニン主義学説で武装した共産  
党の指導」(ソ連憲法)と眞の民主化とを隔て  
ている壁に手を着けるのは、二十一世紀のいかなるのだから。

○ 人の道

近頃は、人倫とか人の道とかいうやうな表現や、それに関じたいとを見ているいとも聞へば少くない。そして、新聞を賑わしているのは、殺人やそれに近い事件などが多い。一体、人ひととの関係はどうなつてしまつていてるのか。親は子に倫理を教えない。学校でも教えない。企業に入つてから少しは教えるが、全般的ではない。企業に入つてから少しほはねは会社そのもののが金儲けに走り、社会のためだと人のためだといふかが走つてしまつていて。取り残された人々が、自分さえ良ければいいという方向に、社会会員は、不満が募つて、それを打ち消すところもな

人道。

章 蟲類

日本人の持ち味を生かす

る「レーニンの遺書」の大衆的な公開(『レーニン全集』一九六一年版)はすでに採録されていいるが(については次の方にかかる。同誌はレーニンの「民主化」の努力とゴルバチョフのそれとを対比して、ゴルバチョフを「現代のトト要塞の反乱」(一九二一年)へテルブルグの蜂起をレーベン者と水兵の「一党独裁反対」の蜂起をレーベンが軍事力で鎮圧したことなど、反乱の最中に開いた党中央委員会で「分派活動禁止」の規約を成立させて、スターリン独裁への道を開いたことだ。

の理論的根柢の書である。それをクイズの材料にする「自由化」は、本来転倒である。やらねばならぬ仕事は『資本論』の歴史的実証性、理論的整合性について自由に検討・批判を試み

を使つてみると、今までカッコ一の良いもの言葉も、みな聞き覚えだつた。最新の言葉また、建築現場では、工事の方針や作業場の

これが変わつて今ではあんまり長くなつたのだからう。それをまだスボンにして、その監督たちがそのようなスタイルだつたのだ木つた。それはおそらく明治の頃、外国の建築士木つたものだ。昔のゴルフマーは皆この格好だつて、ズボンはビザで絞つて、その下は靴下を着けて、ズボンはカボンカーラの略だが、昔の運動用の服でゆくわむるのだ。あのズボンはニッカトといつた。すいぶん時代とともにスタイルも変わる。業の人たちが変なズボンをはいていたのが目立つた。いろいろ電車に乗つてみると、工事現場の作

### ○ 柔軟かつ大胆

へき事の多いむじろ傑作のみ入らなかった。見習う。今となつては良いお手本だったとして、見習う。

延々と説明しきれどもしてある。そして最後に、つたので「とにかく私にやり、私の事をよんや」。あ、「失礼しました。次伺つたのは、坪井さん」と切り出すと、相手な「僕ではありません」所へ行き、同様の挨拶をして、「おのね、坪井様子だったが、調子を合わせていた。そして私は深く挨拶した。先方は余り分からなかつた、将来社長さんになれる野澤さんです」と紹介され、沙汰していませんでした。ついで「や」や、「無」と入つて行つたので私も続いで入つた。窓につた。幾つかの部屋があつたが、ある部屋にすすんで、野澤さんから、「と先方のいどを十分承知の様子なので、安心して階へ上がりつた。ささて指定の三井本館に行くと極めにござつた。

不動産の、後に社長になられた坪井東氏の事だといふ事で約束した。その方といふのは三井

びとした心構えで人生を送つていたみに思ひ正の自由とが重なつたせいか、心豊か伸びる。初めの頃の方たちである。明治の開拓など大正歳から二十歳ほど年上で、明治の最後から大正

私も若い頃に会つた人たちは、さういふ年何杯か飲んだのかも知れない。面白い人だ。精算をしますから」とかいついていたので、彼はビールを少々飲んで何とかこまかしだが、彼はのが彼の昼食らしい。私は次の用事もあるので少し困つたがつていって行へべ、近づくのヨーヨー・キーパーで一杯ほどの焼鳥が美味しいといつた。焼き鳥でビールを一杯ほどの味いといつた。ある時ちよつとお見を、といつて行つた。ものであつた。

そしてケロッとしてそのまま見せない。見事な頭を撫でながら、適当にそらす業は格別である。かで、いややとかエーハー、と少しハグでいるだ。その間違えた時の誤魔化し方などもなかなか坪井さんは何處の部屋でしたかね」と言うの

な方を紹介するから何月何日何時頃空けて下見本のよつたが、ある時に、ある大切がまつたぐれ物語でしない、豪放磊落といつた時々立ち寄つていた。八王子の大邸主の方だつたが、大きな商社の人があり、私は特色のある人が時々いたのである。私

### ○ 傑作な人

努力で欲しいものである。うやうやしくの地域に明るい社会を作ることで、われらの社会をより感じていてるのであらうか。お互いに助け合いの思想である。今の若い人達は、ものへの感謝、人の感謝、自然への感謝などいろいろ感であり、お互いに善意と友情を深めていくとともにまた他人へのサービスを通して自分に真実に努力していっているが、これ

会のため、相互のためひじへしていくといふ。そ、地球全體が明るく人々が幸せの方に向へ

か、何かと国民全体を戦争にかき立てた。先の大戦では名目を定めるのが難しく、鬼畜米英といふのは一体何がそつさせたのか。第一次世界大戦

たが。無論、厚く保護したいという話もあつたとか。パラシュートで降りてみると、皆で袋叩きにしてしまう。一方、第一次世界大戦では、米国の飛行士が本人、外国人を問わず介抱したとの話である。炊き出しがしたり、布や布団を持つて集まつた者もいた。そして遺体や、まだ命のある者を日本に運ぶのをかりて、夜通し海岸を明るくした。中には、火をかかげ、焚き火をして、線に人々が集まり、水兵さんやロシアの軍人が流れてくれるのではないかと、焚き火をして、音が、一日中遠くの方からドーン、ドーンと聞こえていた。ロシア艦隊と日本海軍とが、対馬海峡で戦っているとの話が伝わり大騒ぎとなになりました。誰ともなく日本海側の玄海灘の海岸に、大戦の勝利を祈願した。夕方、大戦の勝利を祈願した。夕方、大戦の勝利を祈願した。

日露戦争、つまり日本海大海戦の際、大砲の現場で直角を出すのに、三四五(サシゴ)と作ると直角ができるのだ。すなはち、タコラジアの方法がある。三寸、四寸、五寸で三角形を作らう。何メートルかといつていろいろのところには中心、すなはち中央があり、その中心から左右に伸びる言葉もある。シメントリーナーのことで、シングルはダメージ。面白いのはダブルといい、それはレシップ・ゴーの変化だらう。それを、ヨーロッパからきていたのだから。お振るのに作業が似ているのでそういうのか。お御幣(棒の先に紙や麻の房が下がっている)をゴヘーといつ。これは神様のお祓いの時に使う、クレーンの棒の動く部分を動かす時はヨーロッパなどだが、TOP(トップ)が訛ったものだらう。例えはタシバ等といつ。タシバとは高木の木だ。当時はもつとハイカラだったのだらう。

### (当会理事)

は、大切に長く持ち続けていたものである。それがあつた。日本人の心の底にある優しく美しい心でそれが日露戦争と第一次世界大戦の違いでできることである。

れをじのようにドンドドして心が一つになるよう人間の真心、自然の心は決まっていて。その運動し、举国体制を進めた。

参加をし、また明治天皇は作戦本部を広島に移真からこの戦争に協力し、若者は勇んで戦争にく利といつ形で終結させた。國民も、強制でなく日本の勝利と國の仲介を取りつけ、紛争を中止し、太平洋やインド洋への南下政策に反対する米

から聞いた話である。  
子どもの頃、北九州市に住んでいたお年寄り  
○ 優しく美しい心

よいのかも知れぬ。  
現在の豊饒社会が人間を駄目ににしてしまっていられるやつだ。もう一度少々貧乏になつたはうて

日本人の頭脳はこんなに良いのに、かえつて着、ハニチングを被る。これは大胆である。そこで実際に乗載である。ニッカズボンの上に半纏を

日本人の知識欲や吸収力はすばらしい。そのため。

を得たのか、航海用の船を作りローマに行つた復して帰したとか、支倉六右衛門は何処で知識

たロシアやメキシコの船などを新品种同様に修

わが国で初めての洋風建築の建設や、難破し

るといつわけだ。

スの定理で、三の一乗九と四の一乗十六の和が

精神科医の名前をとつて「森田療法」と呼ばれるものもある。それは、この療法を始めたための療法が実際するための療法が実際にすっと大変な人が大勢いるといふことを実感する必要なのである。自分がけではない、もつともいは、生きる力を取り戻す上で、非常に重みがあるからだとかを感じられない。しかし、言つまでもなく、母親たちは、自分の句句は自分がどれほど幸せになつてか…」と言つて絶えの思はして、元気な子どもを持つつていても皆さんといふ思つてます。それに比べたら、多少悪いといふ思つてます。生きてくれただけで嬉しいといふ思つてます。生きてつてはれへれただけで感謝しても無事に一日過ぎます。だからこそ感謝して、今をが毎日やるといふと、寝てゐる子どもの鼻に手を震わせ、息を確かめるのです。そして、今を入院してつてはりふとを打ち明けた。そして長く彼女は、自分には難病の子どもがいたんだといふ思つた。親たちがひっくりして彼女をみつめたり思つた。自分はどう不幸な人間はないといふ思つた。

りがたりといふと素直に思えるたのである。妻が生きてつてはりふた。夫婦は整個くなつた。妻が生きてつてはりふたのである。それ考へたら、うとたんに裏切るといふふた。それ考へたら、うとたんに問題なのだ。それには背へへへといふことは、自分を決めてなつたのである。といふことは全部自分が決めておつたのだ。縁があつて、好きで夫婦なら、自分の脳みなど何と取るに足りなりなら、明るく頑張つていてゐる人がいる。それに比べても分よりももうど辛い立場におかれ、それで自らウロコが落ちる思いがした。目に見えは彼の話を聞いて、思わず涙が出てきつた。泣かせると、う生活を長い間続けてつらつた。寝置いて出社をし、帰宅すると、食事をさせて枕元から東京の病院まで奥さんを作つて枕元が終わるまで付添つていてゐるのだと言つた。帰工場長は、週に一回、土曜日になると、福島

ある会社の社員研修を頼まれて出かけた先の。それは、二十二年ほどじゃなかつた。それからせんが、今のはまだつかなかつたからかで暮され、私が混乱してしまつた。それが、今のはまだつかなかつたからかで暮らで頭が混乱してしまつた。正直に言つて、どうして私はかりがつたのかで、その苦しみが自分だけではない。

私の妻は、軽い心身症があつて、家のことで完璧にやるのが苦手である。私が手助けをしていてはいる部が多い。特に、神経に單身赴任をしていてはいる。奥さんが心身症があるといふと、私は薄氷を踏む思いも何回かしたものである。正直に言つて、どうして私はかりがつたのか、どうして私はかりがつたのかで、頭が混乱してしまつた。正直に言つて、どうして私はかりがつたのかで、頭が混乱してしまつた。

難問を抱えているのは、自分だけではないと思えば、荷が軽くなる

井浦 康之

物事、難しいことはない

しかし、アメリカの個室の考え方は、そして寝る部屋とか考へていてない。日本の子ども部屋では机もあり、テレビもありといつても、木造ステイ先で、トラブルを起したり、不満を

子ども部屋がどの着え方でござりてお、私たちには  
家の家事を手がけられ、また子ども部屋を優先  
する。アメリカのナショナルハウスペイントを重  
視した家作りがうなぎ居ますのであるからこれ  
は。子ども部屋がどうしてかの問題を持っています  
が、生徒たちはどちらかの問題を持っています  
。おまけにどう反論がへる。

人、大体は主婦の仕事だらうが、その人に合ふ  
かに作りておけば便利であると、彼女たち  
は主張する。ひらく言ふが如きは、彼女たち  
は主婦の仕事だらうが、それも調節できるとい  
ふせた高木にすらためた、ひらく言ふ。

變化に対する考え方

安心感がいいのだろう。同じように歴史を抱えていたのがどううけだからである。仕事はそれで終わるがついていて、会員が出来るのも、青春を共にしたクラブ会員らしさが出て、格好をつけていて、その「か」は「は」と本求めているからではないうか。始めは、この出席者が増えていくのへり、共感で生きる相手として、中年を過ぎると、同窓会やクラブ会いなが

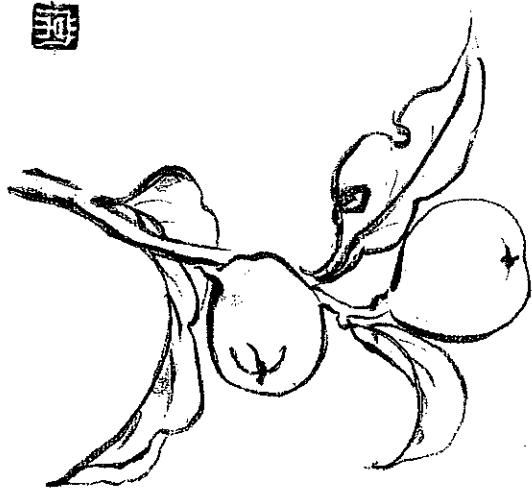
感覚が豊かになります、「自分だけの悩み」にしておきながら、親の会とか、学習障害(LD)児のための親の会とか、学習障害(LD)児のための会を主催するなど、仲間を求めている人はかなり多いです。特に、配偶者を中心とした人の心のフリースタルとか、配偶者を中心とした人の心を癒す会などとのグループができてきていますが、共感し合う仲間を求めている人はかなり多いです。

最近、女性の建築設計士が増えて、男性には気づかなかつたが、女性ながらでは、ヨーロッパなど提案をするようになりました。台所の設計についても、今派行のジヌスティムキッシュは必要あるが、コソバトアにそろそろして、見だすと美しいから採用はれるのです。

また、ある意味では、横並びに人と悩みが共なる悩みの解決法と言えるだらう。

進行しないときもあるわけである。けれども、ひとりの人がそこには自分でいぢりながら、自分も行けない。トヅの成績をあげている人を見て、多い。営業などで好成績をあげている人には、ついした発想をする人がはないといつた考え方である。営業などで成績が進んでいくるぐれに自分がいかなければいけないといつた考え方である。ほかの人を見て励みにするのが、逆に、自分より上の悩みを軽くするわけだが、逆に、自分より多く、治療の大半は終わっていてないといつたところから、観点での治療と言える。つまり、少し視野を広げて、ほかの状況を見えてなつたとすれば、視野の狭さが自分の不幸を繁殖してしまつて、不幸なのは自分だけではなくてある。それを実感させて、心を癒すといつわひである。

話をじ合つたりやうり方である。その話の中から悩みを抱えた人々が集まつて、体験談でいる。悩みの解説法と言えるだらう。



作品 関根常雄

朝起きて、屏風を立てて着替えをして、屏風外して茶の間になって、い、飯を食へる。やがて、夫が働きに出てかけ、ひとしきり後片付けや掃除が終わると、また屏風を立てて昼寝、いとき休んだあとは、屏風を外して内職に励み、夫が帰つてきたら食事をして、屏風で外からの目を遮断して、寝室にする。江戸時代のいいつけたりが目に見えるもつてある。つまり、た生活が目に見えるもつてある。

日本の家屋は、アメリカ人やヨーロッパ小屋と言われたくらいで、確かに狭い。しかし、プライバシーが無かつたかと言えば、決して無かつたわけではない。たとえ六畳一間の長屋でも、戸戸時代の人は、着替えるときに屏風を立てたりしてプライバシーは守っていたのである。屏風は、立てる場所が自由自在だからである。

この点の特徴は、主として被験者の精神作用が時々現れる事である。被験者の精神作用は、被験者の精神作用が時々現れる事である。

(事理会長)

最初から子供が歌詞として作られていて、へは必ずがなへから、アメリカの家庭用計算機であります。百年前に、一一百年と何年も住み続けるのが当たり前になりましたが、背景には、古い考え方があるのです。家族の状況は一年に一度変化する。きちんと考えすぎて、部屋の用途を限定してしまって、一年たつて家がまた頃には、家族の実情に合わなくなってしまうことがあります。若い家族、子供が一人増えてしまうかもしれない。働き盛りの家庭ならば、夫の転勤といつても、中高年の家庭ならば、子どもが独立してもいい。だから、家といふ家で暮らすかしないか。どちらも、どちらかが決まります。

持つたりするのほ、いつしだ考え方の違いから  
来来るといふ多。最近は、日本の子ども部屋  
は机やテレビにかかる、ス・トイ付とい  
は極端な例があふ聞くへ。家族との生身の接觸  
しないむへひたすらひだり、社会性が身につ

## 人生開拓

「アメリカはスピーチの国だから」

### ラ・コ岩本

予定の月曜日、クラーク教授のところに行なはれなかつた。つまづいたら、一〇分をオーバーにならす、「聞」というから、言葉がもつれたり超早口でせねばならぬ。「一分」の持時間がルールだつたらから、じきに氣を使つと、スピーチは十五分かかるんだで、効果的に聞こえをいたり、強調をとつてじらじら修正した。この時点で挑戦は彼は原稿なしで私にやらせ、私のジェスチャなどを多くのいふことを詰め込んだ時、私は何とかスピーチを阻害みだつた。

思つ。君にはまだ一週間といつ時間がある』『君にどうて容易くないアコだよねえ』、と教授は言つた。留学生にとっては『長い道のり』だ。でも僕は、君なら何とかいなせる、と完成に専念した。ハイツトワース大の試合出場残された一週間、全身全靈を傾けてスピーチしてジエスチャの全てを含めて、である。

発音、イントネーション（抑揚、語調）、そして重要な「間」を入れ、強調すべき箇所は強調し、必つた時、私は一〇分でやれる様になつっていた。必つた時、私は原稿なしで私にやらせ、私のジェスチャを詰め込みながら、言葉がもつれたり超早口でせねばならぬ。失敗の余地は「皆無、ゼロ」だつた。

アメリカの若者たちの聲へとき活気力  
教授の運転する車でオレゴン州のユージン市に着いたのは夜の十一時頃だった。私が想像してゐたよりはるかに大きなかつなメモトであつて、着いたのは夜の十一時頃だった。私が想像してゐた三人は、更に遠くまで行って一夜を明かれた男の女子群にとって幸運だった。教授を含む四人の中のどの箇所で、ひそかに日本語が使つた呼吸方が乱れたら、おしまいだつた。

私たち三人は、十畳へらいのその部屋にはシングル・ベッドが一つしかなく、ママネジヤーが運んできた二つのコット（折り畳み式簡易ベッド）を入れ、私たち三人が、足の踏み場がない感じで、足場を探さねばならなかつたからだ。

私は「以上の人の言ふ事を聞くようにしてけられた典型的日本人だから、素直に」エス、サ一」と、訪問着一着とぞうりをハグした。

「成功するスピーチの秘訣の一つは、アピラク教授が言つた。人が外觀から受け印象的な「身なり、外見」だと、出發前に日本民族衣装のキモノでいらっしゃうとしている。」だからドレス・ウエル、チャーチ・サンダーゲンにね、「そしてはつと聞いて」そつたのである。

た呼吸方が乱れたら、おしまいだつた。

た。。。

(つづく)

史を持つ日本社会の伝統同様、キモノは私を拘束する、縛め付け、最小限度の行動を強制した。私は最早「自由」でなくなりた。長い歴史教授の期待通り、「リ・ナ・イス」だつたらうが、日本の伝統衣装を着たのは、ミスティックだつてくれた始末となつた。私のアビアランスは側から私を支え抱かかえて、車に乗るのを手両呼吸はもうハマトである。ルームメートが両り、重ねていかねばならなかつた。紐でそれらを固定して、帯を巻きつけたら、身動きが難しくなり定し、車に乗りこなす。車でそれらを固定の中で、超特急で、下着、襦袢、キモノと嵐の中で、超特急で、下着、襦袢、キモノと

つた。

アメリカ風には最もドレスマニア化した姿となつた。日本風のドレスマニアは、いれども式に幾つも重ねる。。。キモノはその良い例だ

が、みんな他のルームメイトを当てにして、誰も目覚ましは間違いなく六時半に鳴つたのだ

ていた。そして寝坊してしまつた。どなつた。朝からその予兆があつた。雨が降つた。私はアーネストそのものの、の体験100人を超える学生達参加のトーナメ

ザ・アナメバード

人種。。。論し——つぱりひと時じつとせすず動き回る(コカーラ、ミルクセーキー)、良く喋り、激辺まれた感じだった。全く食べ入り、良く飲み書きするといふ。まるでトーナメントに巻き悪かった。アメリカの学友たちと過した時間を幅中といふとか、私にしては珍しく寝付きがつたが、あまりに多くの新体験をし、それを咀

と、起きて身に少ししかつけてない時は、でも「逆」反対「逆」やめる様だ。おひびきつたのに、と痛感していく。私が日本人ではなくアメリカ人だから良かを着るという大仕事があった。その朝ほど、自分が飛ぶ。。。私も仰天して飛び回つた。キモノがつかる、ア・カーラーが飛ぶ、シンクの水がみんなが駆け回つていた。衝突する、椅子にぶつかる、次の瞬間、あらゆる物が空中に舞い上がり、「起きろ、みんな・カモ・起きろ、遅れたー！」

し。  
「ちーちーちー。。。」と誰かはまだ夢の中から

「オーバイ・ガッター」「誰かが叫んだ。」今まで、眠りにけていた。

バイバイ。(用意できた。) ハーバードをノックする

イトたちは直ぐいびきをかいて熟睡していました宿に戻つたのは午前一時頃だつた。ルームメイクセーキは一寸飲んだだけ。。。

私はといえば、ハーバードはやはつと半分ミル彼らは私達女性群とほぼ同時に食へ終わつた。益々賑やかになつた。後から来たといつたの、教授と一人の男子学生も間もなくやって来て、見る学生たちで、熱氣むんやりだつた。クラークハーバード店はなかなか大きく、既に溢れ

ら、「ハーバードを食べにー」「(何)ア・ホ・ア・ツアード」と訊いた。「オア・ホア・ツアード」(アヒル)と名づけられたが、これはから街に行く「とあるアメリカの若者たちがまだエネルギーが多い私と違つて、赤ん坊時代から車に慣れていたが、とんでもない!長時間のドライブに慣じたが、私は後はもう寝るだけと思つて

会場 八重洲富士屋ホテル	
日時	二月二十五日(木)午後六時
講師	林 良造 氏
演題	鳩山政権と今後の内外情勢 春の講演観聴会のお知らせ
(元・経済産業省 経済産業政策局長)	昭和経済会 事務局

(当会会員)

一〇九年十二月吉日

ます。

来年

まれ、健康な一年でありますよう祈念申し上げます。

来る二〇一年が皆様にとり素晴らしい一年

げました。ご容赦のほどお願い致します。

多くの方々にお電話も出来ず、大変失礼申しました。

人との再会、連絡などに主な日時を要したため、関係の仕事、何年もお逢いしていないうち、私の教会

も今回の帰国は、双方の両親の墓参、私の教会

も」と、従弟に説明を受けました。

海外旅行に行かず、国内旅行に変わったせいか

あまりに来ているのに驚きました。それは多く分

客が少ないと思っていましたが、大勢の客が泊

不況で、さぞ私たちの泊まるホテルには泊まり

仕している「日系プレース」を訪問くださいれ

」を訪問された折、私もが計画段階から奉

今年は七月に天皇、皇后両陛下がパンクーパ

た。

仕している「日系プレース」を訪問くださいれ

」を訪問された折、私もが計画段階から奉

した。ですが、その後に嬉しい事がございました

ぶりの大雪に見舞われ、散々な目にあわされました

が、どうしたとか、昨年十一月から五十五年

を費され、しかも冬は雨季のパンクーパーで

一二〇八年秋から始まつた経済危機で生活

も光榮な事でした。

皆様、如何お過いでいらっしゃいますか。

大麥御無沙汰申し上げておりますが、会員の

十一年には日本へ一時帰国しました。経済の  
だきつたことも大変良かったと思いました。  
ム・ケア付き住宅にて、入居者に講話をしてくれ  
地へ新老人の会の会員と共に来られ、私たちの  
院理事長の日野原重明先生(九十八歳)が、当  
八月上旬から九月初旬にかけ、聖路加国際病  
院内役を仰せつかった事と、恵美子も皇后陛下  
ご案内役を仰せつかった事と、恵美子も皇后陛下  
私もお詫する機会が与えられました事は、とても  
光榮な事でした。

私がとも招待され、私が、天皇、皇后両陛下の

カナダ日系プレース  
林 光 恵美子  
夫 夫 代表

クリスマスと新年の  
お祝いを申し上げます。

## 昭経俳壇

寒雀孫に慣れて餌をねだり

三郎

春の夢

よりようござい志異を読み耽けり

紅白の梅咲きそろひ瑞泉寺

悟風

○春駒の親によりそひ草千里

虎の貌して恋猫の睨み合ひ

江の島はかげるふ幕を波の引く

錦倉やとんびの鳴けば山笑ふ

舟来れば橋跳ねあがり長閑かな

コービーをの字にそき春めり

また一軒灯り点りて遠蛙

○たんぽや富士見坂から當士見えず

冬の蠅妻は印度へ旅立ちぬ

寒雷や佐渡より寄する濤白し

軒水柱昭和の還らぬことじもを

水仙のけなげに咲ける杉こだち

ハーバード

剣太郎○笛の雪払い落としつ尾根伝い

春の雪胸に抱きてキュー・ピット

○日本語の達者な外人患方巻

○雪片々おのづからある雪の翳

片栗の咲くてふ原も雪の下

江の島に董焼きの香の一早く

コービーをの字にそき春めり

○たんぽや富士見坂から當士見えず

冬の蠅妻は印度へ旅立ちぬ

あきのじつやうど見付けていとじもを

- 文人の作品しみじみ探梅行
- 啓蟄やみみず探しに畠の畔
- 橋のある小さな村の焼け野かな山人
- 卒業日雲の越え行く山峻し
- 切り貼りの花も明るし春障子緑子
- てふてふの誘ふまほにペダル踏む
- 跳ね橋に遊ぶ子一人水温む
- パイプ一服春の三原の山けむり
- オリエント急行雪のエベレスト
- パリ飛行春のセヌスの蛇行して
- 大マスク美醜一切包み込み長谷川
- 襟立てて待つ間のホーム研返る
- 水仙の岬を囲む曲線美
- 街をゆく春の乙女の脚長き
- 春愁や宮の太鼓を遠く聞く
- 野遊びはどの道ゆくも跡までぐぐぐ
- 山彦の素通りして消ゆ春の山
- 鴨川を下る舟唄春のどか
- 紅白の梅のはなむけ嫁ぐ娘に
- 船底にまだはねてをり春の鮒
- 嵯峨野路を急ぐ旅人春田かな
- 雷責男○淡雪に横脚しつしつ最上川
- 三文のとくかや赤き牡丹の芽
- 春耕やからす見張りて時に鳴き
- 初鮒や祇園の道は雨に濡れ
- 若鮒のいまだやさしき姿かな

えず、気持ちが落ち着いてくる。

八幡宮に向かう若宮大路とは、それを以てして  
いた。通称、金沢街道である。比べて見て  
八幡宮の手前を右切して、静かな住宅街に入  
へ頼みます」と云つた。タクシーは正面の鶴岡  
大路。すると弟はタクシーの運ちゃんに「瑞泉寺  
で、「近くで静かな寺がいいね」と希望を述べ  
弟夫婦が「どうに行つてみたい」と尋ねるの  
八幡宮に出た。

駅に着くと、弟夫婦が改札口を出たところで  
迎えてくれた。駅前で早速タクシーに乗り、若  
駅から東横線の快速に乗つて横浜  
近いあたりを通つて、先是鎌倉駅である。鎌倉  
トネルに入る。トンネルを出ると建長寺に程  
立ちにかこまれた円覚寺山門をすぎて、扇ヶ谷  
電車が走り出すと、すぐにうつそうとして杉木  
は、夏目漱石の小説「門」の舞台となつた。  
頭「帰源院」で聞いた時のとある。帰源院の塔  
るのは、作家永井路子氏の話を、この寺の塔  
は今までに数回は來ていてるだろう。思い出にあ  
北鎌倉の駅の近くに田観寺があるが、田観寺

自由ヶ丘駅から東横線の快速に乗つて横浜  
へ。横浜で横須賀線に乗り換え、一路鎌倉へと  
俄かに迷つて、木立の影や、低い山なみが間近  
いう行程であった。大船を過ぎると窓の景色が  
先に迫つてくる。気分も全く変つてきて、遠い旅  
にでもきているような気持ちになつてきた。  
俄かに迷つて、木立の影や、低い山なみが間近  
電車は静かな山あいに入つていくうちに、すぐ  
に北鎌倉のホームに着いた。今様の街の化粧が  
なく、ホームに沿つて古い生垣が続き、古びた  
家並みが近くまで窺えて、都会に近い駅とは思  
えない。駅は静かな山あいに入つていて、すぐ  
に迫つてくる。気分も全く変つてきて、遠い旅  
にでもきているような気持ちになつてきた。  
俄かに迷つて、木立の影や、低い山なみが間近  
電車は静かな山あいに入つていくうちに、すぐ  
に北鎌倉のホームに着いた。今様の街の化粧が  
なく、ホームに沿つて古い生垣が続き、古びた  
家並みが近くまで窺えて、都会に近い駅とは思  
えない。駅は静かな山あいに入つていて、すぐ  
に迫つてくる。気分も全く変つてきて、遠い旅  
にでもきているような気持ちになつてきた。  
俄かに迷つて、木立の影や、低い山なみが間近  
電車は静かな山あいに入つていくうちに、すぐ  
に北鎌倉のホームに着いた。今様の街の化粧が  
なく、ホームに沿つて古い生垣が続き、古びた  
家並みが近くまで窺えて、都会に近い駅とは思  
えない。駅は静かな山あいに入つていて、すぐ  
に迫つてくる。気分も全く変つてきて、遠い旅  
にでもきているような気持ちになつてきた。

さんたちでにぎわつていた。

古都の鎌倉は多くの人出で、特に和服姿のお嬢  
招いてくれた次第である。成人の日だったのでは  
祝いと称して、年明け三連休の十一日に鎌倉に  
そこでしはらく会つていない弟夫婦が快氣  
に記した次第である。

えて記すことを以て、願わば、各位の御意  
物である。突然、体調不振に襲われたことを見  
突如として襲つてしないとも限らない。油断禁  
身の体である。身体の不調、変調はいつ何時  
夫な身体を誇りに思つていた。いずれにしても  
健康管理に努力し鍛えてきた結果、難攻不落の丈  
健出でからはそれなりに考え方も地に着いて、健  
少いときは病気ばかりしてはいたが、社会に  
のである。誠にありがたい話である。

おられ、良かつたでしにねえと喜んで下さ  
な結果で、その時のお話をすると、皆さん驚く  
つて小学生の身辺には何の異常もなかつたよ  
従業務に支障をきたすようになじはなかつた。従  
も休業状態なので、休養をとつていても仕事を  
増している。七、八月は暑中休暇に入つて何処  
多くの方々に心配をかけた事もなく済んで安  
出来事ゆえ、どなたにもお知らせしなかつた。  
である。突然のことであり、予想もししなかつた  
る病状が偶然にも発覚できただことは、神の恩

字通りにいつた結果である。普段気付かずにはい  
一のたびは、「災いを転じて福と為す」を文  
字通りにいつた結果である。普段気付かずにはい  
快復も早く現場に復帰した。  
その後は驚くほど元気を取り戻し、おかげで  
院に検査入院、それを繰り返しながら充分な処  
置を施し、完璧に治療して八月一日に退院した。  
ような患部が病状となつて現われ、即、慶應病  
き出し、普段なら気づかず見過ごしてしまって  
げで隠れていた身体の一部の変調が一気に噴  
すぎて、厭な気分であった。といふがそのおかげ  
なつて体調を崩してしまつた。帰国後酒を飲み  
応援してニューヨークに赴き、連日の多忙も重  
昨年の六月のと、HSの新幹線の商談を

たい北風が身にしました。  
さがぶり返して終日しぐれ模様だったので、冷  
日まで続いていた小春日和は、この日から又寒  
住み鎌倉へ出かけた。弟夫婦の招きである。昨  
正月十一日、何年振りかで妻と一緒に、弟の

後期随想 佐々木誠吾

名所といわれる所以は別にあり、花の寺「本堂の裏手を回ると、岩盤を削つて池や滝が配してあり、禅僧の修業場と覺しき岩へつなど骨な風格を感じさせた。帰り道、門を出手前前に、大宅壯一の石文が建っていた。刻まれた字には、山間に圃まれたお寺さんの中庭園だが、晴れた日々には、南西の方角に遠く富士の靈峰が鮮やかに固いまだ固いつゆみの枝で、しかも葉へすると多く、花の頃は豪華絢爛を競いあう光景を想像しだしたのである。枯草の庭園には、そぞろに咲く黄色い水仙が、ひとりきわ目立ついた。周囲を望めるそうちである。

は「男の顔は履歴書である」とあつた。顔の造作は、いぢるるのである。太宰壯一は、武骨な自身の顔を指して云つてゐるのだらうか。彼自身、別に映画俳優のよがんな美男子でもなかつたので、どうも解釈がむづかしい。取えて誰に似てゐるかと申せば、志村喬といつたといらか。あつたのを樂しく読んだ記憶がある。瑞泉寺で、そこにはいつ昔のことで、いつ頃、誰と行つたか忘れてしまつたが、いつ頃、誰と行つたか忘れて歩いて行つたことがある。もちろん学生時代だつたことは確かで、周辺の山遊びを眺め、陽光にさらさら輝やく大海原の景色が未だに脳裏に残つた。人気のあるハイキングコースがあつて一度歩いてしまつたが、瑞泉寺のあたりから若い人が歩いていた。瑞泉寺のあたりはまだ世界を知らぬ。たゞすれは、太宰壯一の神の文句は納得できる。たゞ、この画面にも羣衆として映し脇役の演技は、どの画面にも羣衆として思ひ出しながら記憶がある。瑞泉寺で、そこにはいつ戦後の間もない頃、読売新聞の夕刊に、世界の裏街道を行く、の記事が連載で載つてゐる。日本が未だ世界を知らぬ。日本が未だ世界を知らぬ。たゞ今まで思い出などとは思わなかつた。

寺がある。丁度丘陵の岩肌が両側に迫ってきて、ついった先の「やつ」には、程なく目的的瑞泉寺一本道を登つてゆへと静かな盆地に出た。行き止まつたところでタクシーを下り、細い登り道と階段をつめゆへと、茶屋のくぐり戸の様な総門があつた。そいを抜け、左脇の小屋で一人一百円の入札料を払つて中にに入る。

いかにも公家的な都を思わせるが、鎌倉といふ所は、そもそもが武家の権勢を誇る拠点であつた。歴史は一八〇年代にまでさかのぼる。源氏の鎌倉進出が平安末期に盛んとなり、源頼朝が幕府を置くために若宮大路を設けて、街割りを整えたことに始まる。その面影が今に続く。

この若宮大路に沿つて、さまざまな商店が出ており、記憶に残るのは鎌倉彫りを売る「慶」という老舗である。鎌倉彫りは八百近年い歴史をもち、由緒ある伝統工芸品である。お盆やすずり箱、手鏡、茶卓といつた作品が主で、朱漆、青漆などを見つて高価であり、魅力的作品、産物である。いつも見ただけで、買つてくるようが続いている。そうしたなかで、「やつ」とか「や」と等と呼ばれる多くの奥深い谷地がある。

平山を始め、百メートル前後のなだらかな丘陵市街地の周囲には標高一五七メートルの太若宮大路の「三の鳥居」の手前を右折して入る。

りに落ちて着いて洒落た雰囲気で歓談ができる  
間を置いて出てくる料理を食べながら、久しぶり  
康を祈つてワイン・グラスを合わせて乾杯した。  
先ずは赤ワインを注文して新年の祝いと、健  
うである。

も自分の好きなステーキ、肉類をとつていてそ  
理を食べているので、外に出かけた時は、い  
家ではいつも小学生に合わせて魚、野菜を中心の料  
一スを選んだ。妻はステーキ・コースだった。  
それには好きなコースを注文したが、私は魚コ  
白い四人掛けのテーブルが用意されたい。そ  
お腹がすいたのである。小さな中庭を見て、  
つたが、入った時は一時半を廻っていた。丁度  
どいう名の店で、弟夫婦が前以つて予約してあ  
じの店である。「レストラン・ナチュラル・ス

を見つけて、そこに入った。きれいな上品な感  
一軒に、瀧酒なフラン料理のレストランの店  
に面していて、大蔵府跡近くにある住宅街の  
帰り道、雪の下丁目あたり清泉小学校の通り

弟は帰国後、現在の鎌倉山に近く居を構え、  
安堵の気持ちは特別であった。

騒ぎでみんなが喜び合つた。特に、母の喜びと  
には、一族はまるで凱旋将軍を出迎えるようにな  
なん折、暫く離れていた弟が帰ってきた。羽田  
族で旅行にも出かけたり、賑やかであつた。そ  
すこと多かつた。その上、母の呼びかけて  
て、その都度全員集合となつて一家団欒にす  
の浅草には、一年を通じ四季折々の行事があ  
かに逢つて多かつた。実家のあるふるさとや  
父の法事とか、何かの折には親戚一同がなつて、  
母も健在だったし、四人兄弟も揃つていていたの  
が長かつた。八年後に帰国したが、その頃は、  
の後ロンドン支店勤務となつて専ら外国生活  
弟は東京大学を出了あと三義商事に入社、そ  
兄弟と云ふは、今は弟しかいない。  
弟が捕つて元気で生きていだが、二十七八年  
のもの樂しい。いの世に生まれて長い間、四人兄  
弟が捕つて元気で生きていだが、二十七八年  
で一人の兄を失つ張目になつた。殘念である。  
弟と云ふは、今は弟しかいない。

これに先立つて樂しい毎食は、瑞泉寺から  
が落ちる。

飾つてある店である。薄暗い雰囲気で、気持ち  
前かもしれない。訪れた作家たちの色紙が壁に  
という作品があった。それちなんと付けたけ  
來た時に入つてみた。夏目漱石の小説にも「門」  
店を張つていて。喫茶の「門」は、以前鎌倉に  
規模だが狭い通りにさまざまな種類の樂し  
くるみ、天麩羅、喫茶、陶器、竹細工など、小  
ラ、ロシア料理、甘味、和食、蕎麦や、煎餅  
あつて個性的のがい。イタリアン・レス  
達う感じである。古い老舗がいづれもセシスが  
見世のような人出だが、張る店の趣しがや  
ある。数百件の店が軒を並べていて。浅草の仲  
町通りを歩いていく。全長六〇〇メートル程で  
境内を出て、鉄の井から正月にきやかな小  
見えた。

右の平家池には、大きな鯉の影が雄然と映つて  
ことは出来ないが、橋は池を左右に分けている。

として太鼓橋に出る。(1)の太鼓橋を今は渡る  
る。うやうやしく一札して先を急いだ。宮をあ  
日光東照宮の建造に似て、華美絢爛の大宮であ  
びやかに高かつたとい。徳川権勢を誇示し、  
の奥正面には、朱塗りも鮮やかな八幡宮がきら  
境内外の段葛に出て、中央の参道に出る。右手  
の咲くころは典雅な轍を堪能できる。  
の咲くころは華美絢爛の風景と重なることだ  
の手前には牡丹園が広く設けられており、牡丹  
「流鏑馬道」である。やぶさめもそつたが、池  
に源氏池を見ながら歩くことが出来る有名な  
鳥居をくぐり広い境内に入つた。この道は、左  
一の櫓を立て北風に向かって、鶴岡八幡宮の東  
立付属小学校前を右に曲がつて歩いた。オーバ  
と横道にそれ桜並木が続く清泉小学校、横浜國  
歩いて戻り、鎌倉宮で参拝した。途中、そのあ  
瑞泉寺から車に乗らず、そのまま来た道を  
裡に残つてゐる。

おとづれのあいにきて妻といへ  
 初春の若宮通りを裏にいり古き屋方を  
 成人を祝ふ乙女のよそはひに小町通り  
 空に鳴くとんびの声の物がし。ビーピ  
 の菓子買みてみるかな  
 鎌倉の駅の出口におもあひて鳴ひあわ  
 の駅につきたる  
 大船の駅をすへれば初春の静まる古都  
 ひぬ古都はゆかしき  
 鎌倉に住む弟のまねきにてひしく訪  
 舞ひぬ鎌倉の郷  
 初春のめでたき空に輪を描きとんび  
 大きく輪を描いて飛んでいるのが見えた。  
 とんびが鎌倉山の風に乗って空で啼きながら、  
 鎌倉  
 年も前の日のと  
 源のおどりが幕府をおきしけ  
 梅はまだかきつぼみに春をまつ盛り  
 のじるを覚えぬかな  
 かまくらの夢想国師の瑞泉寺まねきに  
 訪ひし春またきこゑ  
 きたかせの帝たき庭にめぐりきてそば  
 一の石丈のたつ  
 木のかげに「男の頭は履歴書」と大宅壮  
 年明けの小町通りをそぞろゆく老舗の  
 なかをみるもたのしき  
 今はおとうと一人みしも  
 いさみゆく四人のやのじのはから  
 端泉寺より道すがら見めしにまくらス  
 ツラに入りて味は

片の雲に、夕日があたって赤く染まつていて  
 ある。夕方の空高く、晴れ間をのぞかせた  
 亡くなつた親父とお袋に伝えたいと思つたり  
 ると安堵して帰つてきた。(い)とは私なり  
 たりと生活している様子で、何よりなりと  
 恵まれてゐる環境で充実して、日々樂しくゆ  
 渡つて遊んでゐるのが見えた。弟夫婦が豊かに  
 見た庭に、色々な小鳥がやつてきて、枝木を  
 としでの責務でもあると思つていた。応接間  
 兄であつた。見届けて帰る(い)が、不束なる  
 逢う瀬は、弟のその後の居宅と生活を垣間み  
 弟といえは弟しかいなくつてしまつた。今回  
 車を出し、鎌倉山の弟の居宅に立ち寄つた。兄  
 小町通りを樂しんで、鎌倉駅裏の駐車場から  
 する学園グループである。

成る生徒数七千人、教職・事務員五百人を擁  
 核とし、二つの高等学校、六つの専門学校から  
 いる好例である。現在、静岡理工科大学を中心  
 に培つてきた商社的感覚の経営が、効を奏して

何ともあれ順風満帆で結構なものである。長  
 代の要請に応えて更に躍進の道を邁進中であ  
 腕を発揮、短期間にそれをなし遂げて、目下時  
 たなか弟は期待にこたえ、学園改革に抜群の手  
 残りをかけ懸命な戦いを続けている。そういき  
 学校経営も公立、私立を問わず、全国的に生  
 してしまうほどに激しい変化と改革の中である。  
 でのような考え方でいると、取り残されていっ  
 たのが動機であるといつていい。  
 ので、最後の、奉公のつもりで理事長に就任し  
 らの日本の課題は「教育である」と考へいた  
 科大の理事長に就任した。日頃から、これか  
 判所の民事調停委員、司法委員などを務めた  
 就任、相談役を経て六年後に退職、横浜地方裁  
 その後、三菱商事からサウジ石油化学の社長に  
 古都にふみわしく、環境抜群の地である。弟は

し、綺麗に掃除もして貰った。感謝である。  
シグ状態である。高鳥君のお蔭でカットでき  
た分割今まで止め送られてくるから、容量も  
増えた。大々所ぐらいいのと、ろくから同時発信し  
てある迷惑メールの発信をとどめさせて  
くれた。迷惑メールを遮断しながら何百通、何千通  
来ててくれた。熟知した高鳥君は手際よく処理して  
しまつたところ、心配した高鳥君が助つ人やつま  
なつてしまつた。受け取る小生が根を上げてしま  
つたつて対応していたが、その指令も利かなくな  
る遠隔操作ではないが、電話で高鳥君の指示に

つて、ひとつギアップした。  
削除を以つて対戦していくが、手に食えなくなる、  
といふを知らない。いは一体どうしたものか、  
迷惑メールが入り、珠玉つなきになつてどうま  
散々に迷惑している。昨今、氣狂ひみたいに文通り  
込んで来て、仕事に支障をきたして文字通り  
だ。最近は下らぬメールや、迷惑メールが飛び  
ればイヌに寄つて、ハソコの不具合を見てくれ

高鳥君は神田に行く前に、小生の八重洲の才  
幹で、無知に過ぎて痛み入るだいである。  
戸子を自慢している身にしては、いかにも  
た。戸子の猿若に生まれ、猿若で育ち生粋の江  
たのは始めてである。それが頃に訪ねてみ  
る。色々と噂には聞いていたが、この界隈に  
高鳥君は食通だから品定めも本物である。小  
生などと違つていろいろなところを知つて  
高鳥君があり、郷愁を覚えるたままである。  
いる古参の店もある。店の作りが凝つてて  
有名な老舗が盛業して、最員筋に大いに受け  
るたままである。今も尚七、八軒から  
初期から続く古き良き時代を偲ばせて情緒あ  
せずに、幸い僅かに残つた界隈で、大正、昭和  
へに行つた。東京大空襲の戦災のときに焼失  
つて神田淡路町にある「いせ源」の駄菓子食  
会員で高等学院時代の友人、高鳥武利君と会  
・ · · · ·

日々をすくすくへしむるのかのなか  
おはらかにこの世を生きてくれひのなき  
に生きし人の氣概を  
これまでから学徒は先を読みてなほ太古  
徒の先是たのしき  
限りなき夢とそのみを胸にとめ若き学  
のがやきわたる  
東海の浪打ちかへす白浜に春のひかり  
を学び世にぞ出でけん  
貧しさに耐へ蠟雪に書をひらもひと  
富士の晴るる嶺かなふ  
胸を張り駿河の海の浜辺行くまむか  
をあげて船をすめん  
帆の沖に向かへる  
学び舎の森に眺むる海原に真しるき  
はるかな駿河の海の波寄せて学ぶ學  
識あふれて

躍進す詩岡理工科大学の先に若きと知  
に飛び立つはよし  
この先の科学技術の振興にかけて世界  
かけて努む人びと  
吹き荒れる学園経営の舵取りに任せ  
人との仕組みどならいの是非を知り  
はあやふし  
信仰のなき教育と学問に科学技術の先  
しへ立つ人ぞよし  
清貧にへらし困苦に耐へしのみ人のお  
むはいともかしあし  
学問と教育のもとを熟知して道に励  
て國のさかえあるらん  
地方より教育の意義といひしめし  
しめしかし  
学園の榮へにむけて尽力す舎弟の才覚  
すぐる日々やうれしき  
弟の住まいによりやすらぎぬ達者に

ない人間が段々と増えてくるのではないうか。原因は、社会生活の複雑な反面、ジンバルなよさが失われつつあるからである。いついた類いの日常生活的体験といつたものには、現代社会は住みにくく感じる。周辺に使用する機器のなかにも、ジンバル、簡潔な道具がある。例えば、大地に種子を播いて小松菜をとり、菜の花を薬しむを旨としている。今は代り、いろいろと手法を駆使して金をかけ、水耕栽培をする。季節感がなくならなくてねくなつてしまつた。人間の根覚、聽覚、味覚がその分、減退してしまつだらう。人間の感性が薄れてくれるといふに違ひない。「馬の耳に念佛」「二階から目薬」そういう極めには「秋迦に説法」「暖簾に脣押し」であり、「猫に小判」「砂に釘」「絵に描いた餅」だ。

知らないし、覚えようとしてもしない。面倒具が先にあって、第一覚えられないのかも知れない。知ればきっと便利に違ひはないけれど、反つて済むといった世界に違ひない。映画「風と共に去りぬ」や、「天井桟敷の人々」「ローマの休日」など、携帯電話を使って見ても仕方がない。単純な漫画ばかり見ていたら、馬鹿にならばかりである。利便さが人間の能力を減退させていい。最近、世の中が浅薄で、凶暴性を帯びてきく。私は以前から考えてきている。エロ漫画に至っては、低劣であり、やら攻撃的で動物的である。漫画が大流行ときて、みんなの作家の博物館まで立ち上がって、観光の名所にまで白熱している。こんなことを見たりすると、少しはしてしまった。しかし、行き過ぎだとも思う。

最近は情報手段がすべてに於いて電子化され、情報も迅速にならって誠に便利な世の中になつた。ありがたいが、複雑ひとつビードに追いついていけど、変化の早さに於いて目を見張る思いである。ハソン、携帯電話、IPフォン、コピーマシンなど、手元に置かれた通信機器は便利である。人々は多角的に有効に活用していく、これ程便利なものはない。便利が鼎じて、文字の読み書きが出来ない人もこれから出てくるかもしれない。競争が激しく、次から次へと新しい機能を搭載したものが開発されてるので、利用者も迫りつつくのが大変である。私の利用範囲は極めて単純だから、そつた世界には興味が無いし、携帯は外出先での電話のみ。ハソンはメールと書類整理と、文章を書くことのみで、それ以外に活用したこともないし、活用の方も知無闇心である。

タクシーで神田淡路町交差点に出て右折。五〇メートル程のところ下りて左側一帯が食通の老舗界隈である。明治大正文化にタイムスリップした感じで、夕暮れの影が漂つて、行燈の灯がともっていた。鶏のすき焼きの「ばたん」で神長炭鉄鍋で食べる「ばたん」もいらないと云ふ店の前を過ぎて右に曲り、先の右角の古ぼけた構えの店が目指す「いせ源」である。それでも梯子をするわけにもいかない。駄轎の「いせ源」に入った。

この界隈には「いせ源」を始め鶏のすき焼き蕪麦」、かき揚げの「松栄亭」など十種類の名代の店を張って往時を偲ぶ名残りをとどめている。日本文化の僅かな灯をともしていながら墨田の向島、神楽坂の裏通りあたりが、からうつた貝合である。谷中の根岸、浅草の日本堤、江戸の店を張って往時を偲ぶ名残りをとどめている。

「ばたん」、甘味処の「竹むら」、「神田藪の「ばたん」、かき揚げの「松栄亭」など十種類の名代の店を張って往時を偲ぶ名残りをとどめている。日本文化の僅かな灯をともしていながら墨田の向島、神楽坂の裏通りあたりが、からうつた貝合である。谷中の根岸、浅草の日本堤、江戸の店を張って往時を偲ぶ名残りをとどめている。

る。やはりは元気にならなかったり、病み上があ  
肉で精をつくされたしたには、力の差は歴然であ  
の飯饅の肉を食べ、あおきもとが遅い地図の  
れつたのである。我々がふにやで、と話して  
ときは、余程注意しないといけないね、と話  
い限りである。しかし同席して食べるよくな  
しを食べた女性は筋肉ママーになつて頬もし  
ついてるから肉質は固く元気があるので、それ  
をやな席だと、女性で客席は地図を使  
客のほうが羽振りがよく、庄倒的が多いのは女性  
専門の「ばたん鍋」に行へる。とり料理  
性の地位が低下していって証拠である。とり男  
若い女性連れが多いといつては、相対的に男  
若い女性客が多いといつては、不景気に  
ならない一杯や二杯でいるのである。意外に  
がられて店に入りへりの客の様子をうかが  
戸越しに、外の行き来を見ながら、灯りに  
はは通りに面した窓際に陣取つたので、硝

て、仲居さんと対に急がしてやつた。幸い  
お客様さんが一階に登つてへる頻度も増してき  
つづき。「その一句を味わつた次第である。  
で確信している。「獅子舞を真似て首振る頭が  
先生の右に座る佛人は見当たらぬいたが、遠藤  
仰ぐべき佛人は況山いるかも知れないが、遠藤  
は、それらが況山收められてゐる。南天の寒に  
通つた情緒がかもし出されてゐる。南天の寒に  
一句には底知れぬ深みがあり、汚れたなほ  
英文学者であり、童謡作家でもあらわれるから  
が况山あつて、じつじ味わふるやうな素晴らしくい句  
それこそ胆をう裸と申される遠藤先生の佛句  
雅号をう裸と申される遠藤先生の佛句  
鮫饅のキモを食していいたいとする。  
の墨鑑に胆をう出す思いで、今夜は失礼して  
あすかつてきてくれる。教えてはせんが、今もおなじの恩恵に  
なあといながら敬服し、今までおなじの恩恵に  
各句会に指掌に出ていていけるが、それが  
俳句同人誌「南天の寒」を主宰されて出版し、

れで、墨鑑として俳句の指導をされたりもして  
先生であり、恩師であられる。九十二歳になつて  
徳先生は、われわれの高等学院のときの担任の  
現在、昭経佛壇でお世話をなつていてる遠藤嘉

じふりに結構樂しい時間をすこししていいた。  
いの健康のことなど参考にしたりながら、久  
げて、友達のことなども話し合ひながら、お互  
などしながらら場所柄、軽妙洒脱な話など取り上  
話を聞くを頼んだ。そんなこんなして輕い世間の  
感じがしていよいよあつた。他に何かとつたけ  
られてしまつたといつた。妻に言つたら、たゞひに取  
がが盛つて、家でつらがつ食べるのと並んで上品な  
食へ方であり、気分もしどみとりへりてあるの  
ので青磁の皿に張つてあり、酢醤油で軽く切つた  
そつだ。それをふくべ刺しのけんじくへりてある  
である。アンコウの白肉の部分は限られていて

とは、特注に出る料理だらう。之は贅沢なもの  
つていてるのに、その鮫饅鍋の前に自身のしみ  
身を頼んだ。老舗の鮫饅鍋でも贅沢なものと思  
だ後、勿論付け出しあは出たが、アンコウの白刺  
注文は、高鳥君に全て任せた。飲み物を頼ん  
も中年もしくは年をとつた婆さまがいる。  
いた。意外と仲居が多い感じがしたが、いづれ  
向つて座り、ガス台の火に置いた鍋をつつて  
いており、部屋にはすでに五組ほどの客が  
大小に仕切つて、障子戸、硝子戸を配し落ちつ  
登つて一階の客の間に行く。一階の間は部屋を  
下足札をもらう。案内されるままに正面階段を  
しき仲居が出て迎えて丁寧に挨拶、履物をぬいで  
最初に客の到來を告げると、奥の間から女将が  
紺の半纏を着込んで正装した下足番の旦那が  
く迎えてくれた。鮫饅の「いせ」源である。  
地の暖簾を押し入った玄関は、玉石をつめた  
暖簾に腕押し「で本当に、温もりのある紺」

うように努力してゆくにした。前回の講演若き企業経営者を目指す多くの若者に、参加願将来を展望して、昭和経済会に学生諸君を始め、

先般の昭和経済会の予算委員会の総会の席上

### \* 青雲の志

……  
る筑波山かな  
裏快にゆく人生はさしも似て高くそびゆ  
うばらのはて  
志高くかかげて邁進すきに広漠  
艱難と辛苦に耐へて汝が道を行く賢人の  
慎んで眞福をお祈り申し上げる。  
戦後の生き証人であり、教師である大人を又  
信あつて親しく付き合つてきたなかで、戦前  
前にして学ぶことが云わずして多くあつた。

開き、肝胆相照らして接する時もあり、大人を思ひ出は、語るに足きないものがある。胸襟を経済人であつた。風格はもとより、気概は豪快を已れながらに自由奔放に活躍、初心を貫いたその後の目ざましい勤勉と努力で、自分の一生であつた。戦後の混亂期を乗り切つて意志堅固にも役を果された。勇猛果敢な生涯であつた。子市で財を成し、我孫子市の発展に貢献し、我孫の訃報に悲しみ驚いている。

横山興業株式会社の会長、横山常夫氏が一月十六日、逝去された。逝年八十九才である。突然を出そうちと思つていた矢先のいとであつた。春めいてきた。無沙汰していつたので、手紙殊のほか寒かつた冬が去つて、空がかかる

横山大翁

しおりした下町情緒も味わつてゐる。仲居芸者に見立てて、この先しばらくは、一人の陳腐な話題しかもつたのに、少しばかり空けておいた硝子戸を借りる樂しい時間である。湯立つ鍋の湯気を惜しながら、ぐずぐずと音を立てて、美味しい匂いが込み具合を試しながら、しゃがつたり、食べたり、煮てきただが、足りていていた。ねぎ、青菜、椎茸、しらたきを足していく。これからが鞍鑄鍋に入れて、煮居さんの仕事は、いれでおわつた。中年だが美人の仲豆腐、といつたるものである。中年だが美人の仲居さんによると、すき焼きの時と同じよう野菜の具足していられる。鞍鑄の大事な部分を鍋に落としてある。自身の肉の部分と、ゼラチン質の皮と皮膚のところである。鞍鑄の上手いに違いない。最初から一つに切り離してあつたので、安心した。あとは骨のついた大きな胆の塊である。煮込んだら、とろりとしたがかつた胆の塊が、おいしそうに見えた。結構、

明しながら丁寧に落としていた。中でも土色注いだ。そこに鞍鑄の切り身を一つひとつ、説当店独特の自慢の汁ですと称して、先ずそれを中身を持つて現れた。ガス代に火をつけると、背の高いすらっとした仲居さんが、鞍鑄鍋の像してゐたまえ。女性の社会進出といふは聞いてゐないが、実態は愛染かつら、非良そのもの女性の帰宅を待つてゐるのである。その姿をして、男が家でまかない仕事をして、出稼ぎに出で、男を養つていけないとつてある。女性が経済力をつけてきた証拠で、ひ弱な相談が多い。多くが女の方から、男に愛想を尽かして三下り半を突きつきつけてくるクースである。女性が経済力をつけてくるクースである。職務の立場上、会員の人たちから色々な相談事を受けたりするが、最近は子供の離婚話のりである。足蹴りされて一発でダウジである。

ひろば」と呼ばれていて、昭和九年に竣工しました。資料展示室となつていて、一般に「タインの二ノクに感じるのです。この建物は、横濱税関橋の背景に田舎の建物が見えますが、大変ユ

ニシタ。この橋が「万国橋」です。

快心の作になると思つて表紙絵に描いて見ました。似た風景が目に入つてきます。そこで私は、その異国情緒が嫌う雰囲気を充分に出せたらどうかと、夜明けを告げた港ですが、私にとっても大変魅に浮んでくるは鬼瓦にあらず、大きな倉庫になつか表

描いているのですが、大きな倉庫を歩いてきました。横浜港は、日本の近代史の

姿は太平洋の白鳥」と呼ばれていたそうです。汽道を進むと、「運河へ」こうに着きます。

汽道を走つて、地域を四十五・四周する航海をした実績を持っています。帆を広げた美しい

帆船日本丸は一九三〇年に建造されました

が、船員を養成するための練習帆船で、一九八

四年に引退しました。それまでの四十五年間に、

航海出来たらどんなに素晴らしい事かなど、童

心にも似た感動を覚えました。

開港百五十周年を迎えた横浜港を久しぶりに訪ねてみました。横浜港は、日本の近代史の

姿は太平洋の白鳥」と呼ばれていたそうです。

汽道を走つて、地域を四十五・四周する航海を

した実績を持っています。帆を広げた美しい

帆船日本丸は一九三〇年に建造されました

が、船員を養成するための練習帆船で、一九八

四年に引退しました。それまでの四十五年間に、

航海出来たらどんなに素晴らしい事かなど、童

心にも似た感動を覚えました。

開港百五十周年を迎えた横浜港を久しぶり

初めてなので、この帆船に乗つて、世界の海をあります。港には帆船日本丸が停泊しておりま

り、この通りの左側に、横浜みなと博物館が

赤レンガ倉庫まで行く道のりには、汽車道が

再度訪ねた次第です。

も見て來たりします。思はずに描ききれず

て浮んでくるは鬼瓦にあらず、大きな赤鬼に

現がうまく描めないで悩むところです。連想し

描いているのですが、大きな倉庫になつか表

力があるところです。今油彩で赤レンガの倉庫を

描いています。横浜港は、日本の近代史の

姿は太平洋の白鳥」と呼ばれていたそうです。

汽道を走つて、地域を四十五・四周する航海を

した実績を持っています。帆を広げた美しい

帆船日本丸は一九三〇年に建造されました

が、船員を養成するための練習帆船で、一九八

四年に引退しました。それまでの四十五年間に、

航海出来たらどんなに素晴らしい事かなど、童

心にも似た感動を覚えました。

開港百五十周年を迎えた横浜港を久しぶり

関根常雄

横浜港・万国橋

表紙絵のことば

理解、ご支援をお願いする所存である。

この会で審議して頂きたいと思つていて。各位の

年会費の軽減など理事会で提案させて頂き、總

申し上げ、ちなみに三十才までの青年諸氏は、

お歳さん方が、進んで加入されるこどをお願い

ると思つていて。先ず、会員諸氏のこ子息や、

たちの会への在籍意識と、参加意識の高揚にあ

青年諸君の相互理解と活動の源泉は、若い人

世代に継承してもらいたいと念願している。

の、協力をお願いする次第であり、これを若き

貢献のあからさみとく活活動に、物心両面から、

より感謝している。同時に会員各位の尊い社会的

指導者たちの理解と、高邁なる見識の賜物であ

る大なる評価を得てきている。これは、時の世の

優れた学識、学説の提供に努力してきて、会は

ある大学教授を始め、著名な識者の、協力を得、

経済社会の諸問題に取り組んで、指導的立場に

昭和経済の時局論壇でも理解できることにつ

いきたいと念願している。

そうした運動を強力に展開して、実効をあげて

年たちの育成に取り組んできましたが、これからも

この数年、会は新取の企業家精神に燃えた青

互啓発と協力を基礎に勉学する教育団体でも

あって、その責務を痛切に感じている。

昭和経済会は、企業経営者の団体であり、相

うのは当然である。

一步でも成功への道を歩んでもらいたいと願

て、社会にあつては人の為に役立ち、ひいては

う氣持ちが大人にはある。お互いに切磋琢磨し

受け、努力して社会に活躍してもらいたいと云

い一つの時代でも共通した認識がある。将来を

思つた次第である。

ゆくことは、今後の活動にとつて重要なこと

手諸君の希望につながるような道をひらいて

ら、新たな発想の展開をお願いした。広く若

い、理事を努める三十代の諸君に企画しても

山黒岡山山長梅鉢前牛野中岡加塙天河高糸小藤大安斎土本稱吉井岩福田室田富沢木川河坂沢村藤屋谷野木川河原平藤屋田本稱吉井岩福田英一幸勝一節後春信昭忠和太直洋二弘平郎夫得達芳謙郎清郎三彦大美夫男真郎助久郎男二雄彦如義夫寛一弘平郎夫得達芳謙郎清郎三彦大美夫  
N通通通大國東日外作中N慶作通科弁組日政大參科經本經日ソ富大  
H産產產藏 K省省省省税京本務企K義產工經治企議技學濟本ニ士大臣  
解產生産國官銀業解大廳說院術評研行社論理社頭顧長委教  
活業際房廳都行廳說學長委教  
委審業策治審長知總員議局局部議  
長官長長官官事裁問家官員授家問官士長問家臣長官家長家事長取(通財務省担当官伊藤子口井澤坂田島田保國藤原良田田浜全精一義輔宏度晴隆伸二亘人那哲一浩二明後人那浩維夫郎治亘忠武廉雄之人大山昊人N浦コミニケ解説シヨンセン委員長官當授員取家授家員臣長授長シ長使授問長長臣長長授員長)

### 講演会の主な講師（講演時役職）（敬称略）

昭和経済会 発行所 印刷所 編集人 事務局	昭和経済会 発行所 印刷所 日本印刷株式会社 佐々木誠吾	〒100-6810 東京都中央区八重洲二丁目二番三七号 TEL 03-5571-6000番 FAX 03-5571-3110番 e-mail:info@showa-ecor.jp http://www.showa-ecor.jp/
平成十二年二月二十六日印刷 第三号 第一回 第三十六卷		

歴史と伝統を誇り、公私共に活躍する経営者団体の昭和経済会が、新しく会員を募集中おります。	歴史と伝統を誇る、老・壯・青に加え、尚、若き起業家の積極的参 加をお歓迎しております。	事務局まで、お申込み下さい。
敬具		

した。市民には「クイーンの塔」の愛称で親しまれている横浜税関庁舎です。昭和九年誕生で歴史は昭和経済会と重なってきました。昭和経済会の創立も、昭和九年だからです。昭和九年誕生で、この庁舎の一階に、「横浜税関資料展示室」が設置されています。展示室には開港から横浜の歴史を綴った年表があり、貿易の変遷や、輸出入通関の流れといった税關の紹介や、密輸についても図表と模型で分かりやすく紹介されています。なかでも麻薬、拳銃の巧妙な密輸といつた犯罪の手口には、驚かれます。外観で感じるのは違つ現実の厳しさを、深く感じます。

るところが出来ました。